

健康市民おかやま21（第2次） 最終評価アンケート調査結果 （歯科保健関係部分抜粋）

調査目的

岡山市の健康増進計画である「健康市民おかやま21（第2次）」が令和5年度で最終年を迎えるにあたり、市民への浸透度や推進状況の評価を行い、次期健康増進計画の策定のための基礎資料として活用することを目的に実施した。

調査期間

令和4年8月5日～令和4年8月26日

調査対象

区分		対象数 (発送数)	不着数	回収数	回収率
市民	満20歳以上を住民基本台帳及び外国人登録データから無作為抽出	8,000	37	2,892	36.3%
事業所	岡山企業年報から無作為抽出	600	1	341	56.9%

■市民向け（性別、年代別の対象数、回収数等）

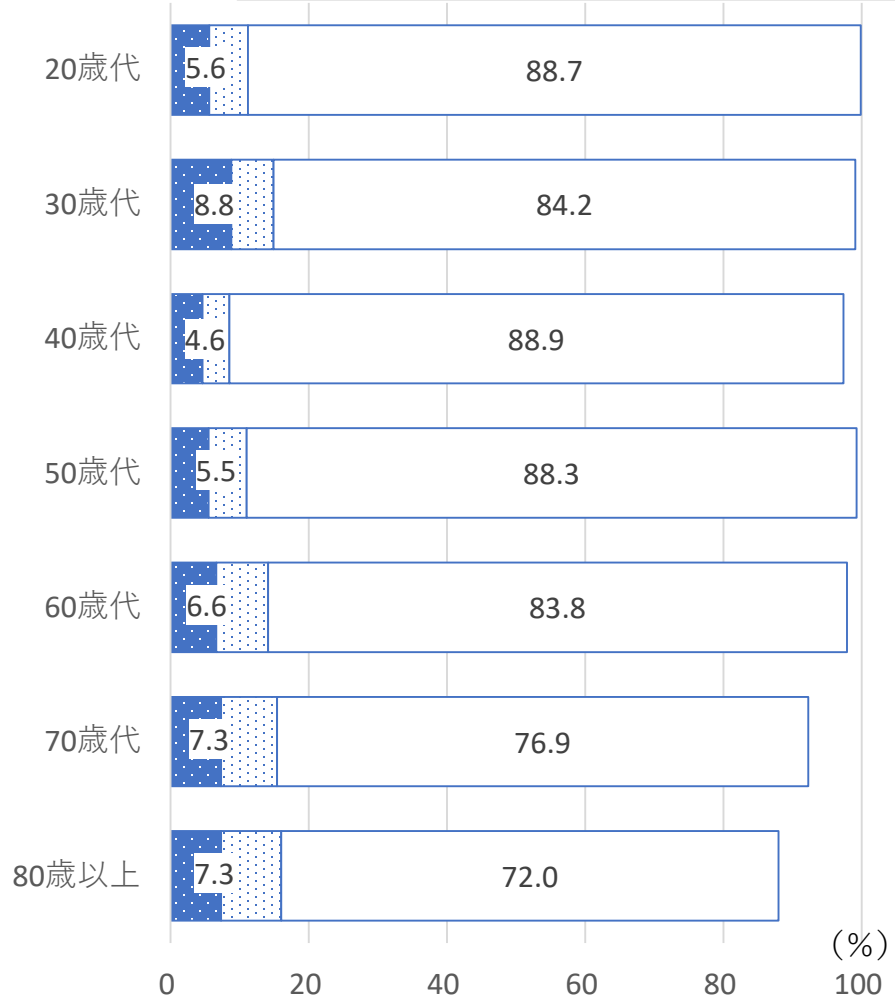
年代	男性			女性			合計		
	対象数	回収数	回収率	対象数	回収数	回収率	対象数	回収数	回収率
20歳代	539	71	13.2%	527	118	22.4%	1,066	189	17.7%
30歳代	555	114	20.5%	555	178	32.1%	1,110	292	26.3%
40歳代	697	153	22.0%	698	249	35.7%	1,395	402	28.8%
50歳代	635	163	25.7%	651	266	40.9%	1,286	429	33.4%
60歳代	521	228	43.8%	558	303	54.3%	1,079	531	49.2%
70歳代	538	273	50.7%	670	382	57.0%	1,208	655	54.2%
80歳代以上	313	150	47.9%	543	235	43.3%	856	385	45.0%

①市民への調査結果

問. オーラルフレイルについて、名称や内容をご存じですか。

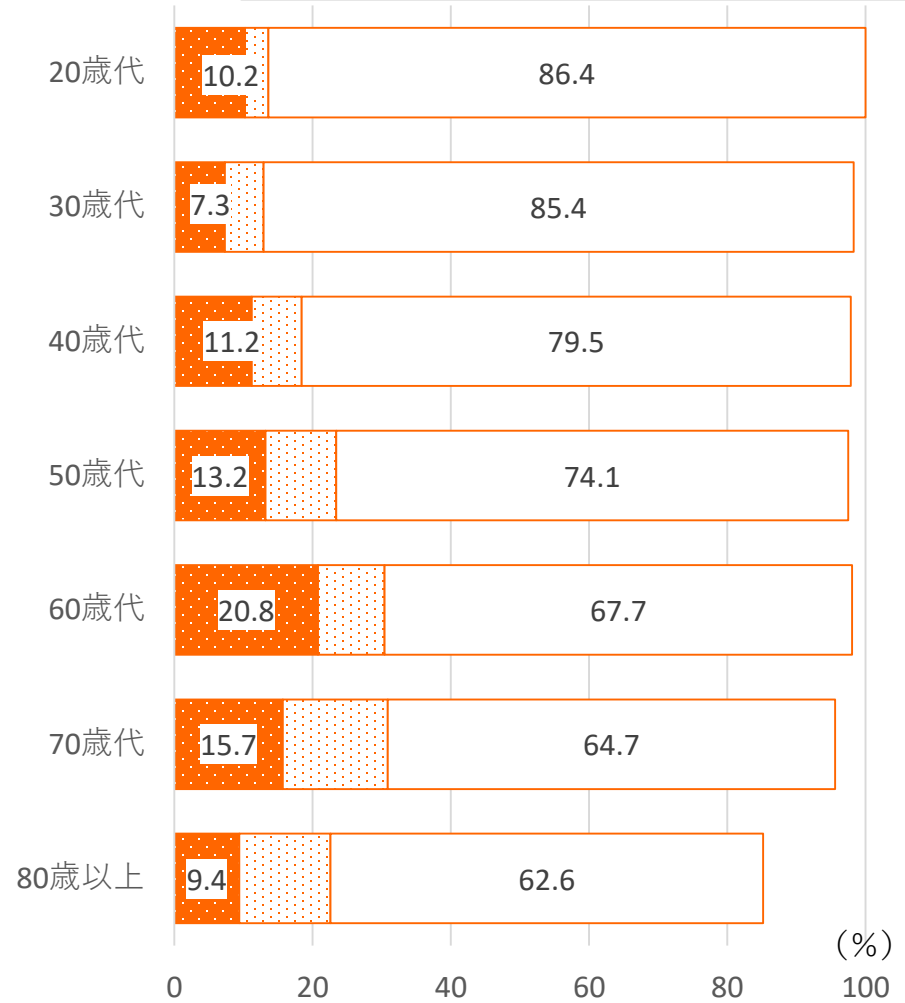
男性

- 内容を知っている
- ▨ 内容は知らないが、名称だけは知っている
- 内容も名称も知らない



女性

- 内容を知っている
- ▨ 内容は知らないが、名称だけは知っている
- 内容も名称も知らない

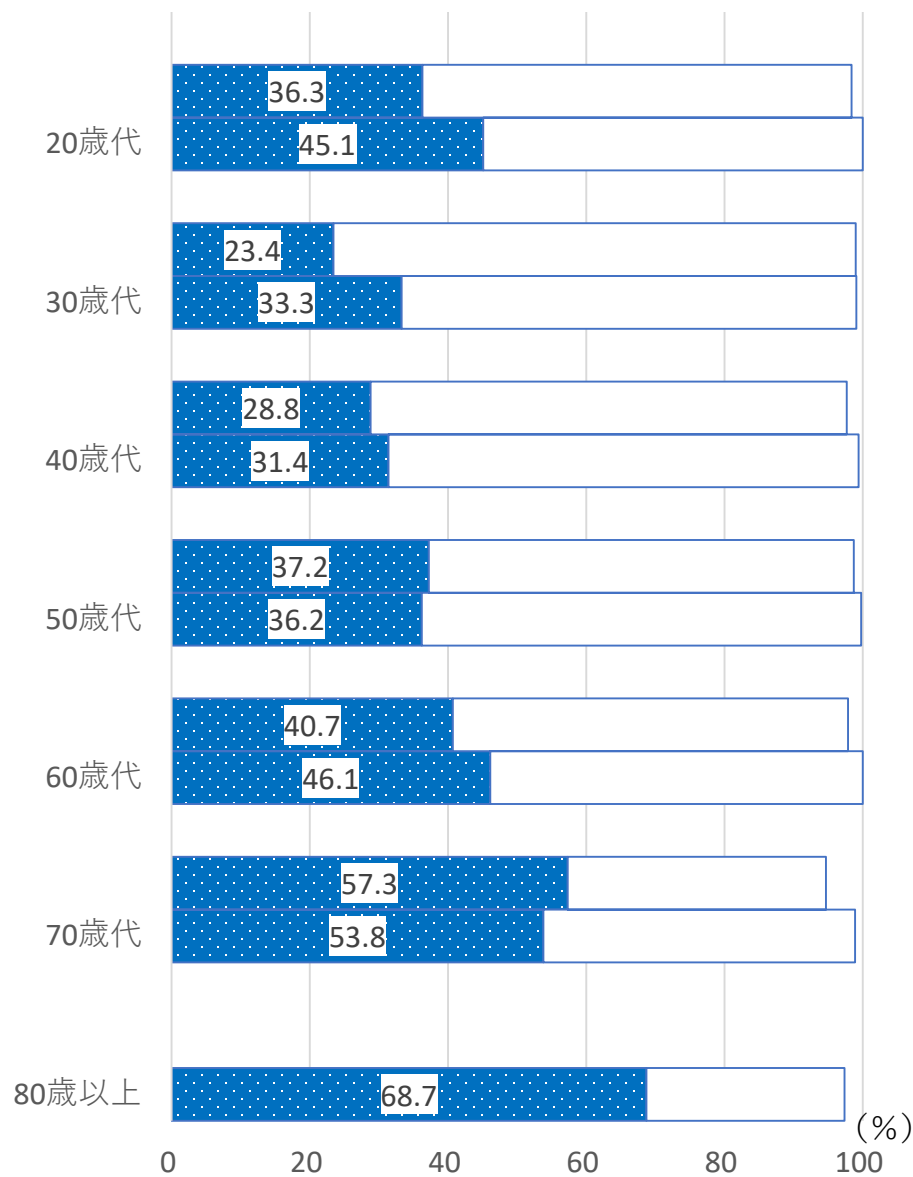


問. (普段の食生活の状況について) ゆっくりよく噛んで食べていますか。

男性

■ はい □ いいえ

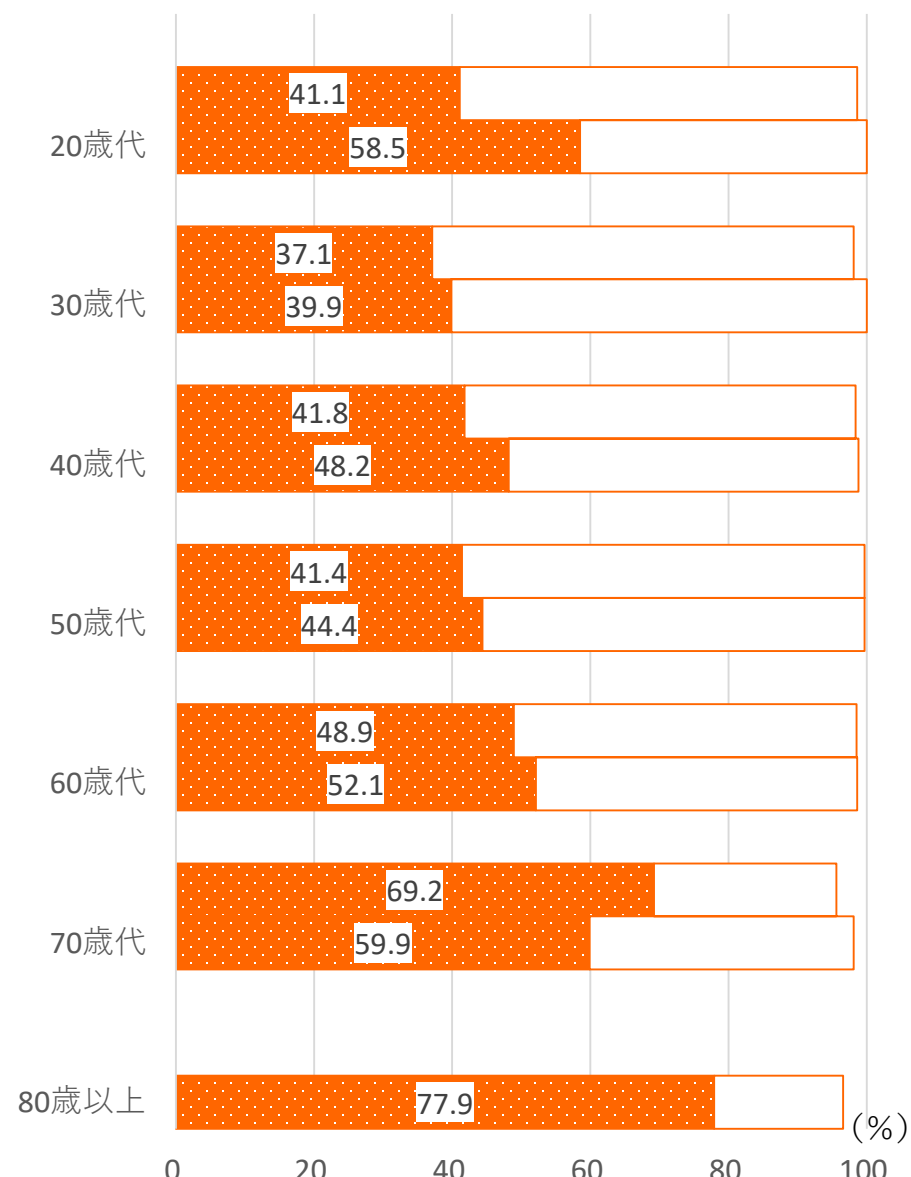
上段：中間評価時
下段：最終評価時



女性

■ はい □ いいえ

上段：中間評価時
下段：最終評価時

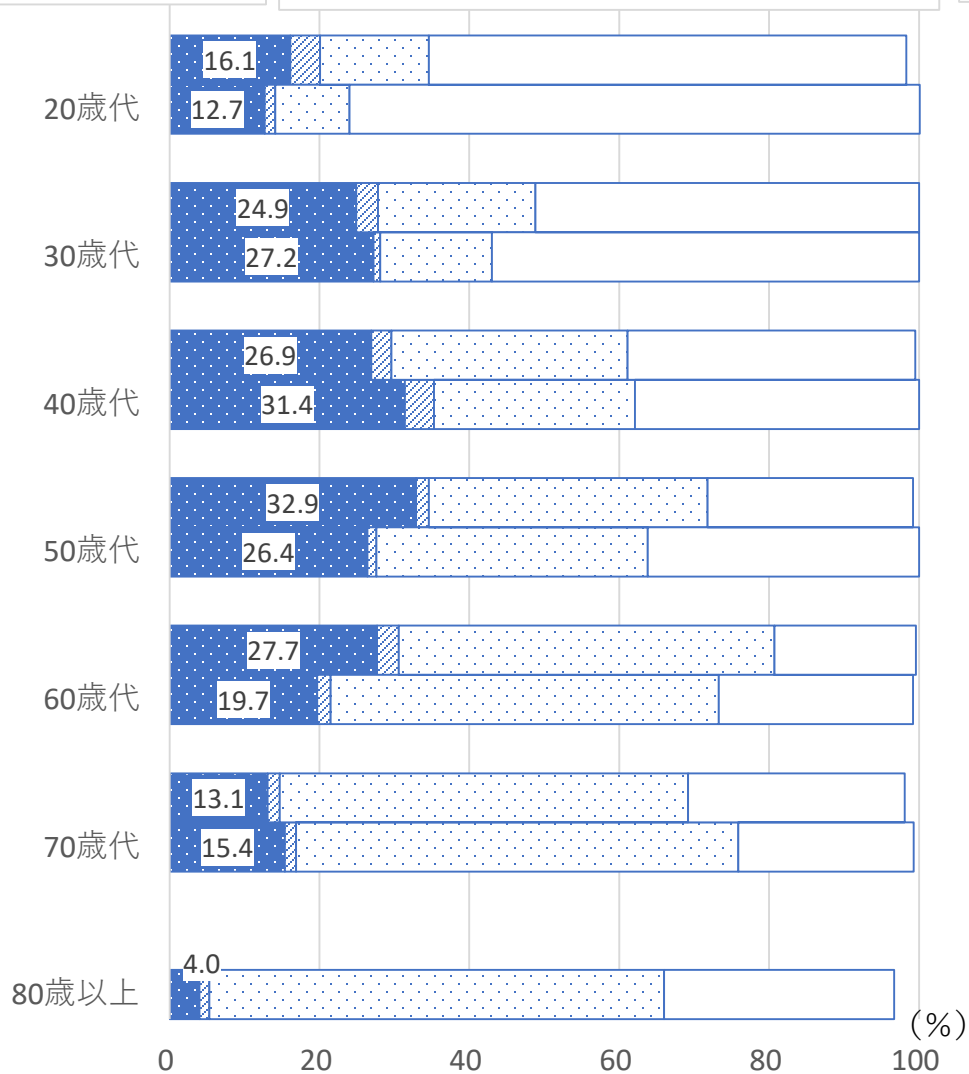


問. タバコ（加熱式たばこを含む）を吸いますか。

男性

上段：中間評価時
下段：最終評価時

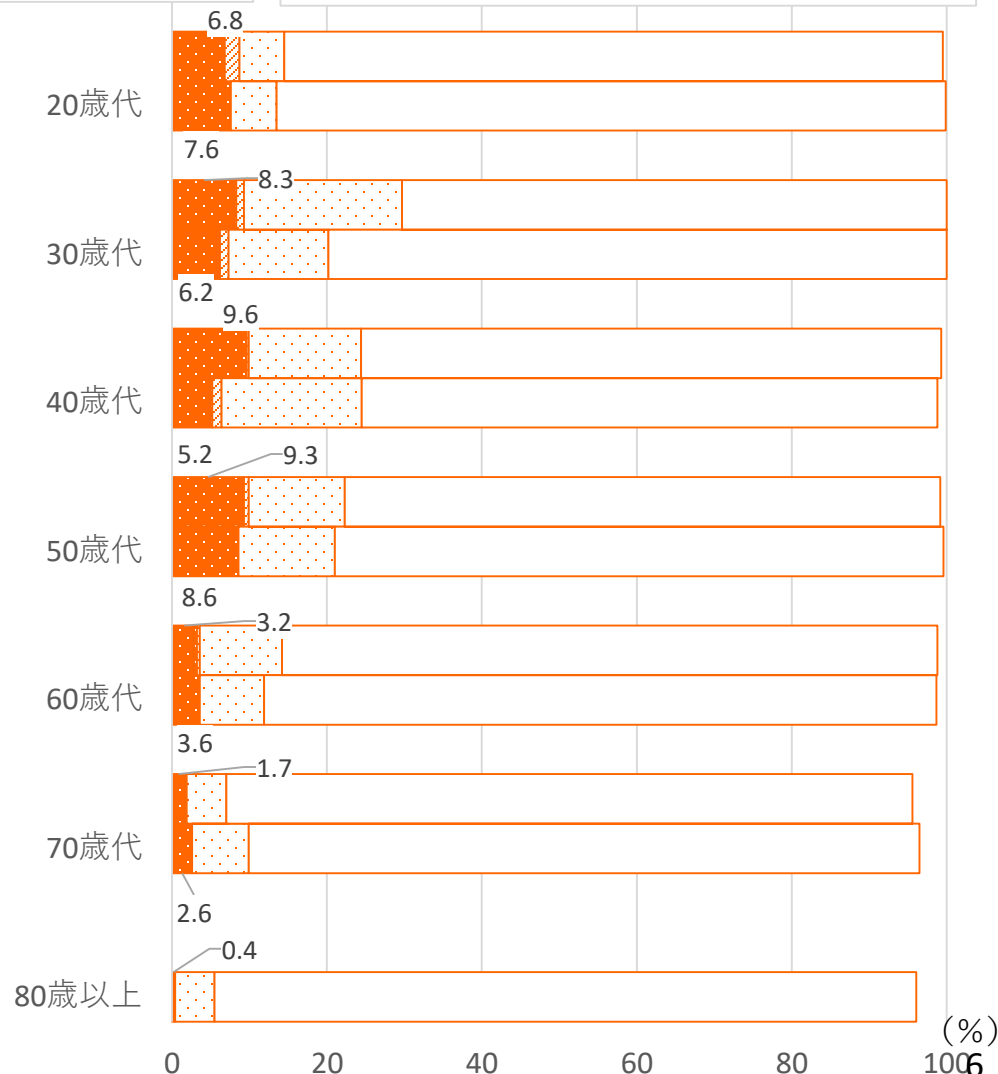
- 吸う
- ▨ 現在禁煙中である（やめて一年未満）
- ▤ 以前は吸っていたが、一年以上やめている
- まったく吸ったことがない



女性

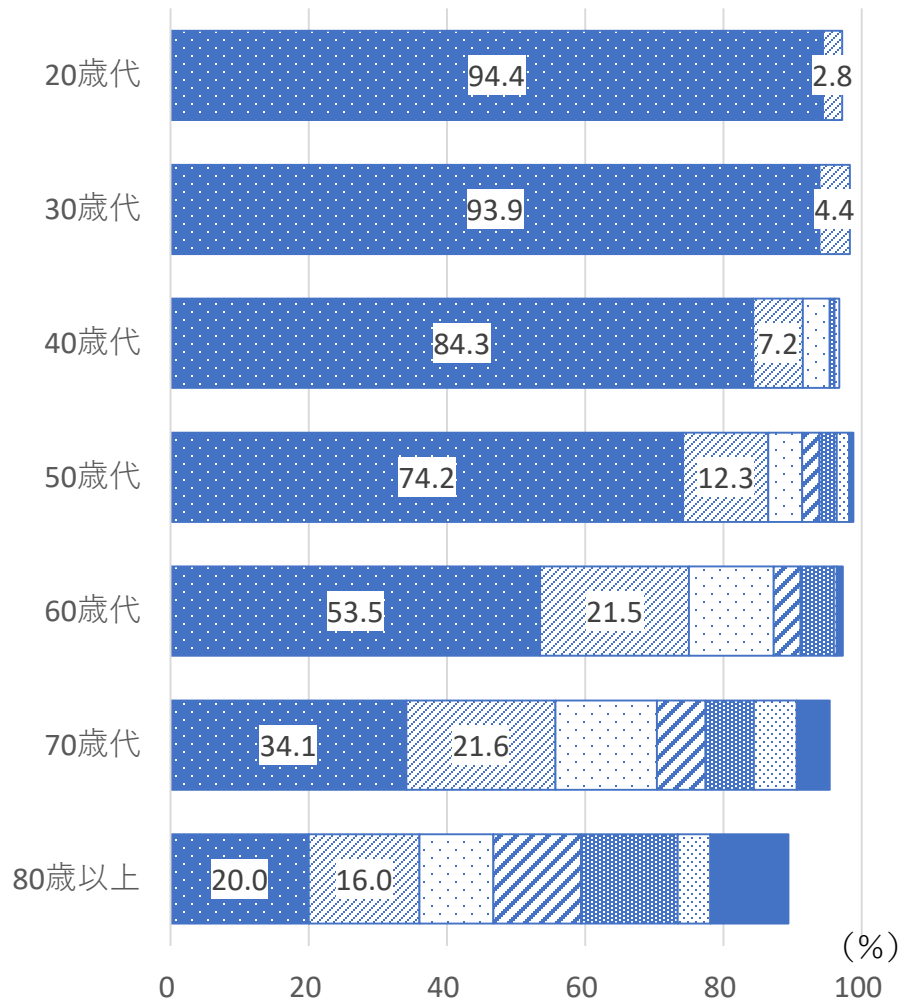
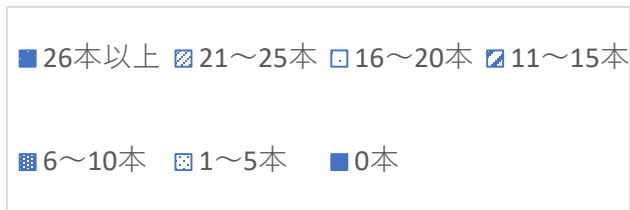
上段：中間評価時
下段：最終評価時

- 吸う
- ▨ 現在禁煙中である（やめて一年未満）
- ▤ 以前は吸っていたが、一年以上やめている
- まったく吸ったことがない

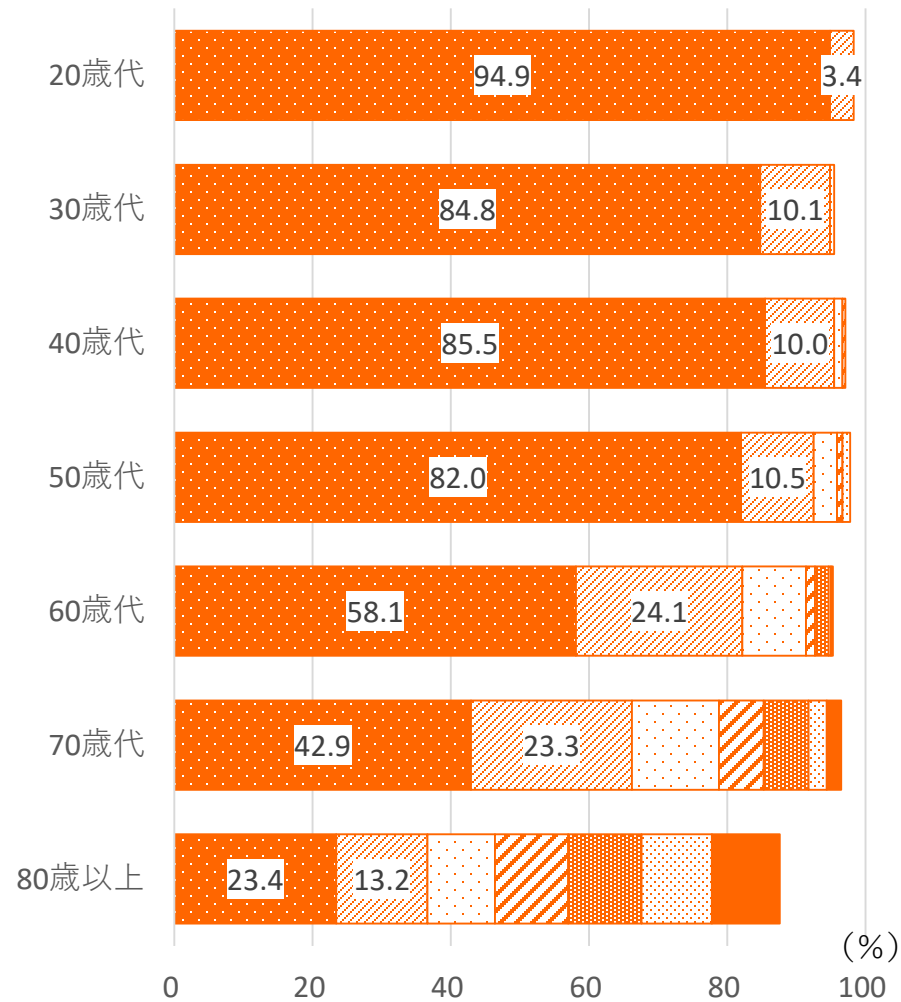


問. あなたの歯は、現在何本ありますか。

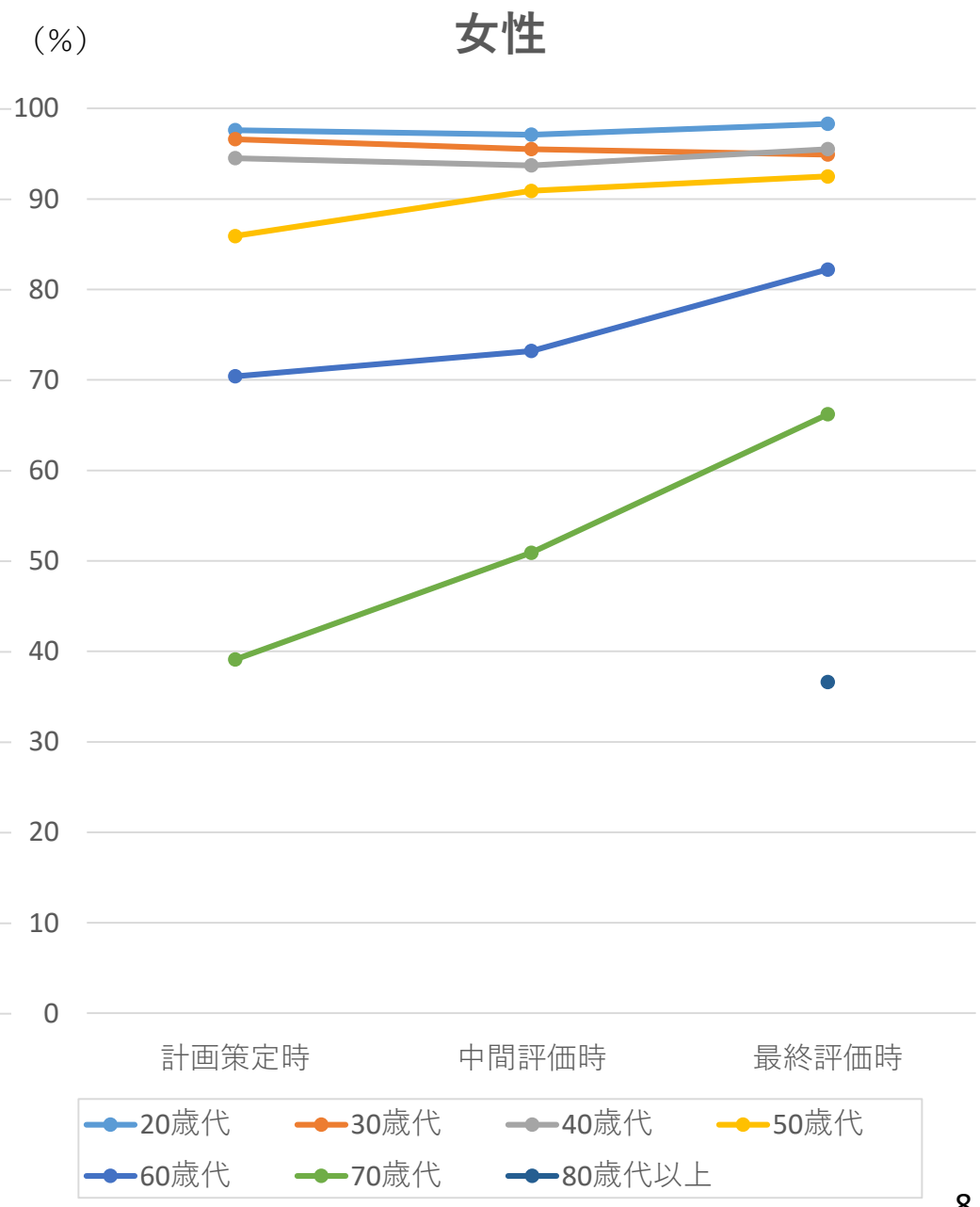
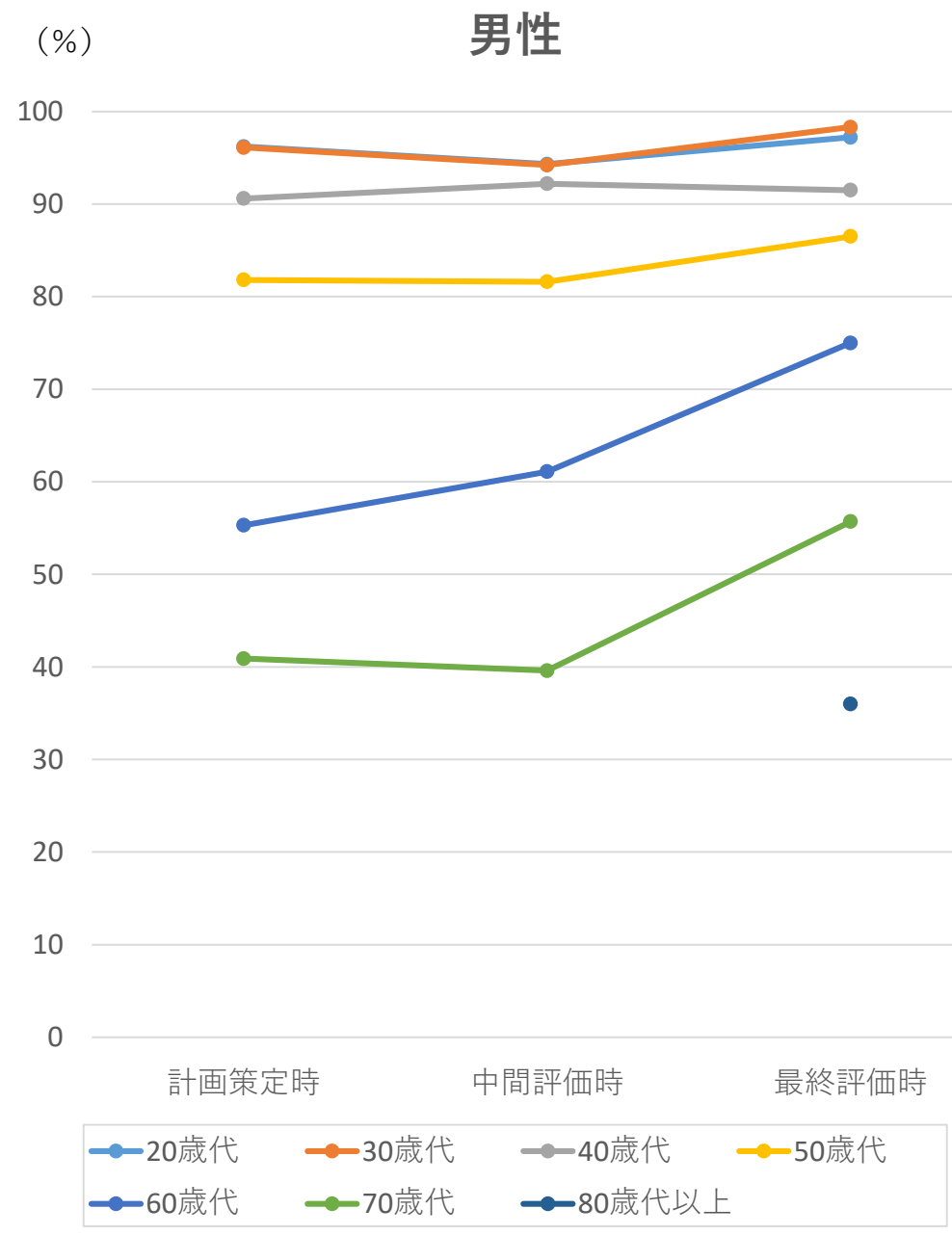
男性



女性

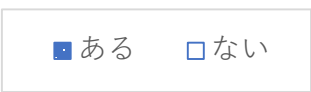


問. あなたの歯は、現在何本ありますか。(21本以上ある人の割合の推移)

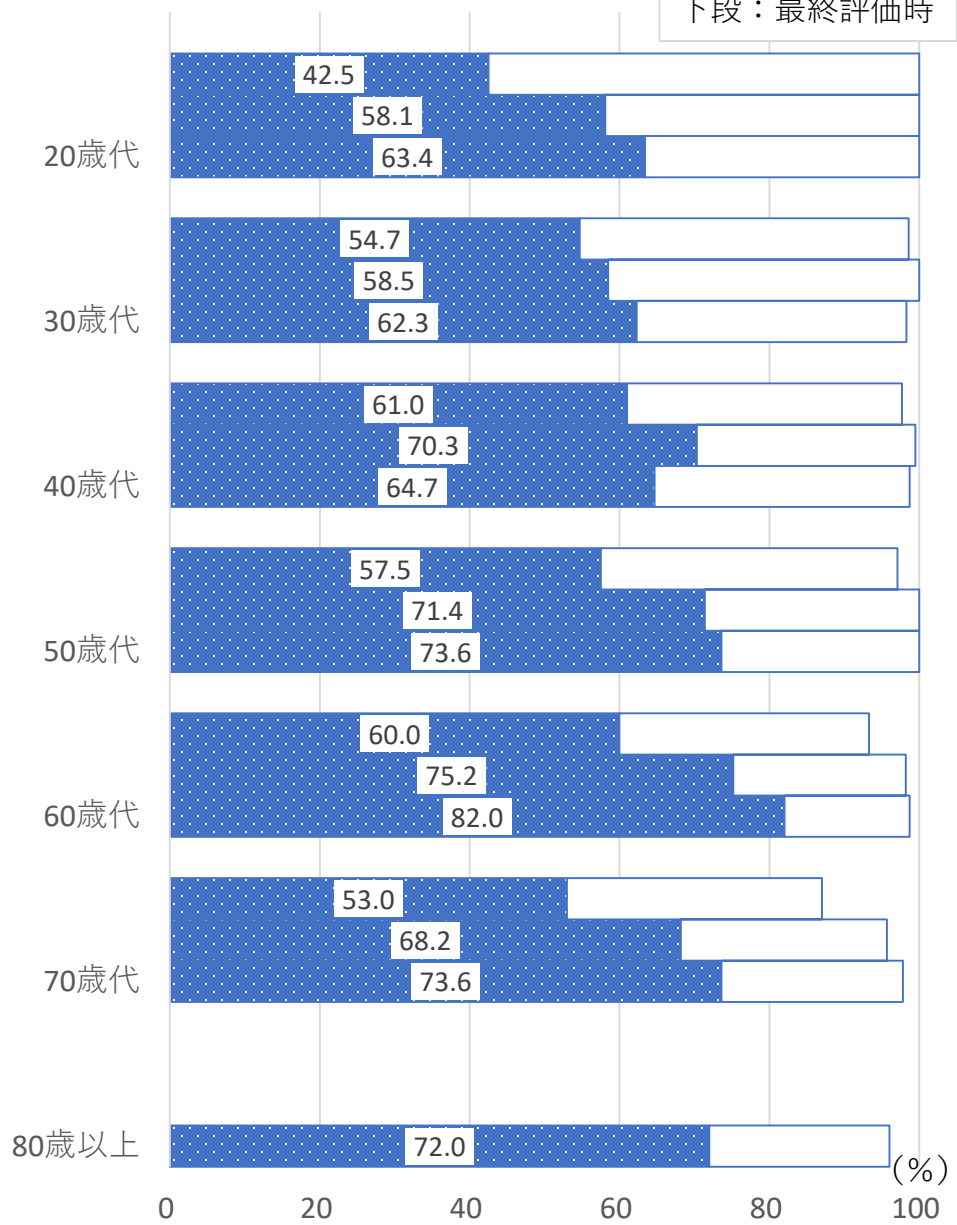


問. 歯の健康について、気をつけていることがありますか。

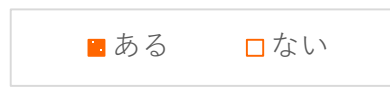
男性



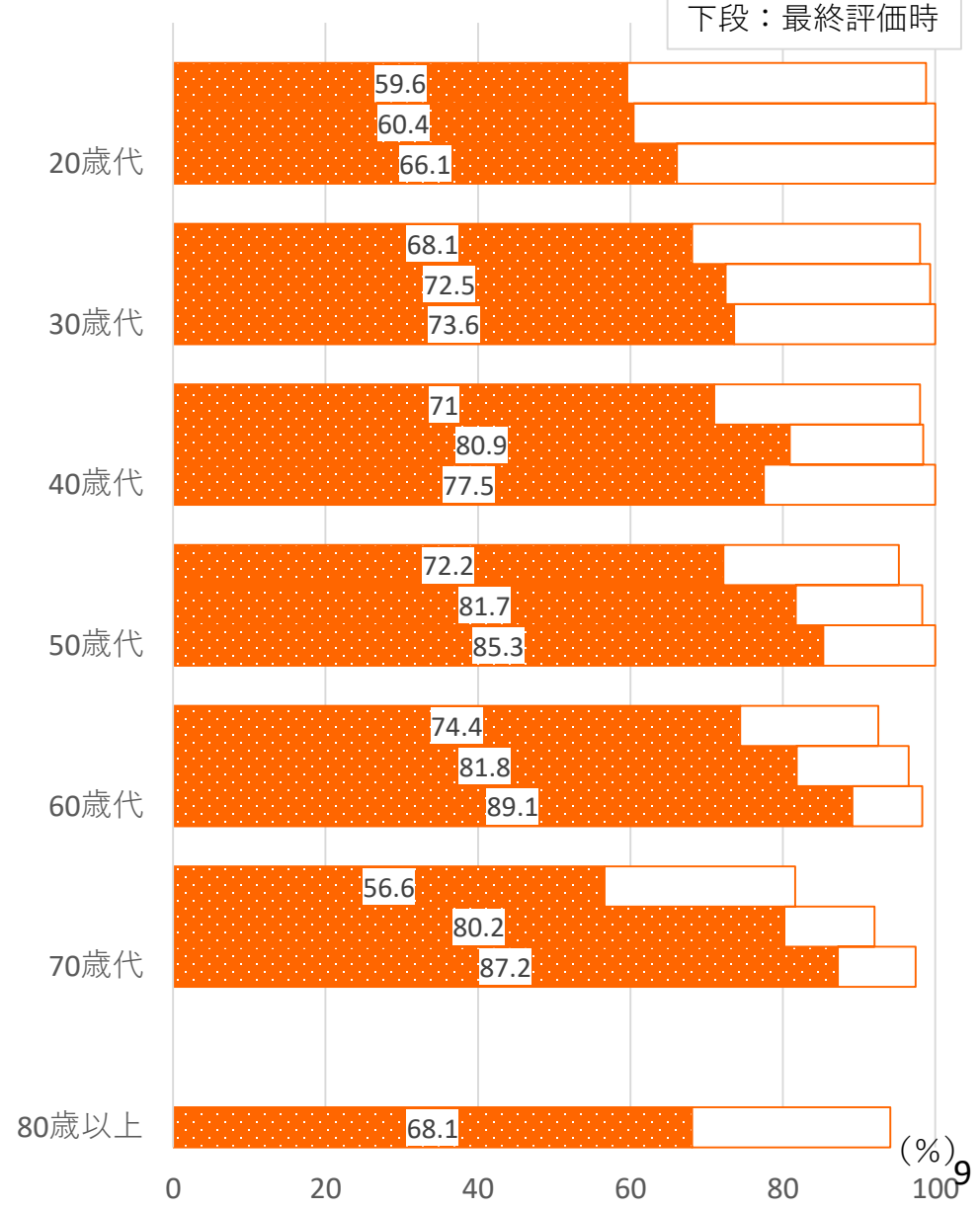
上段：計画策定時
中段：中間評価時
下段：最終評価時



女性



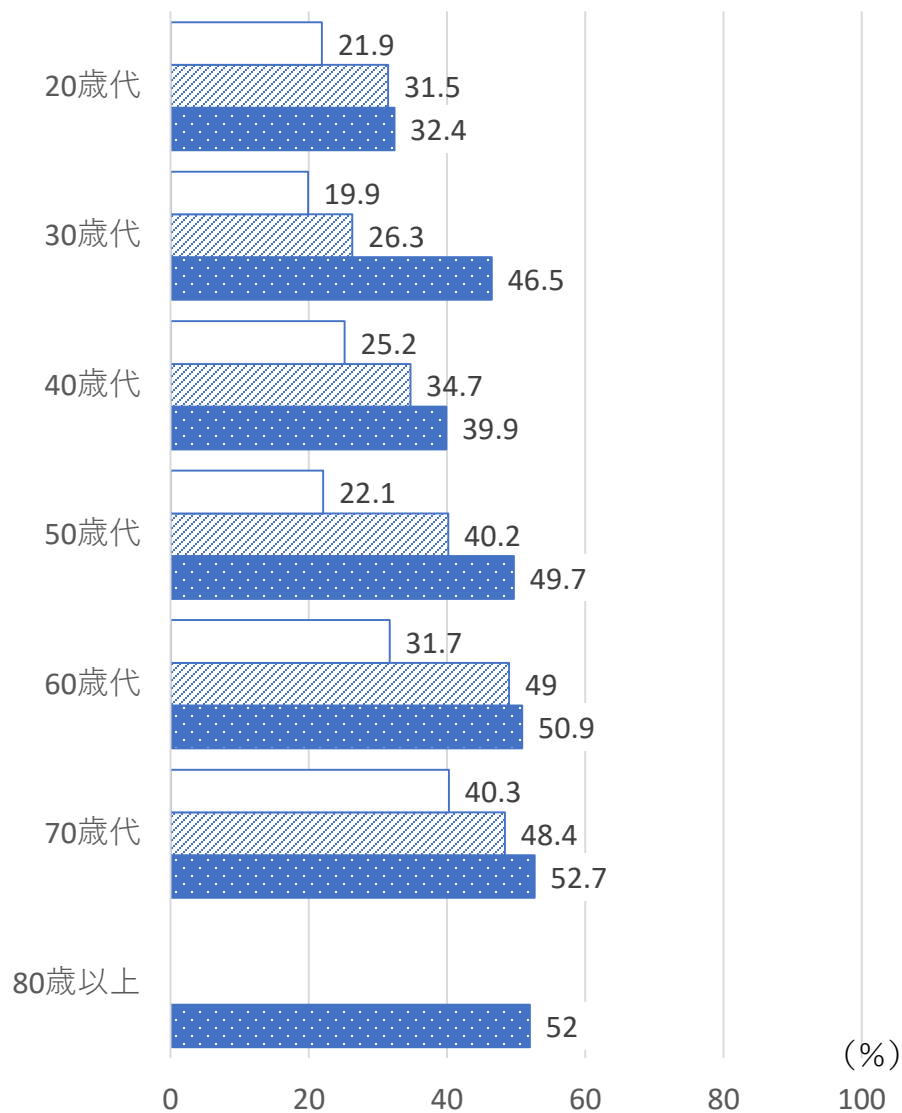
上段：計画策定時
中段：中間評価時
下段：最終評価時



問. 年1回以上、歯科検診を受けていますか。

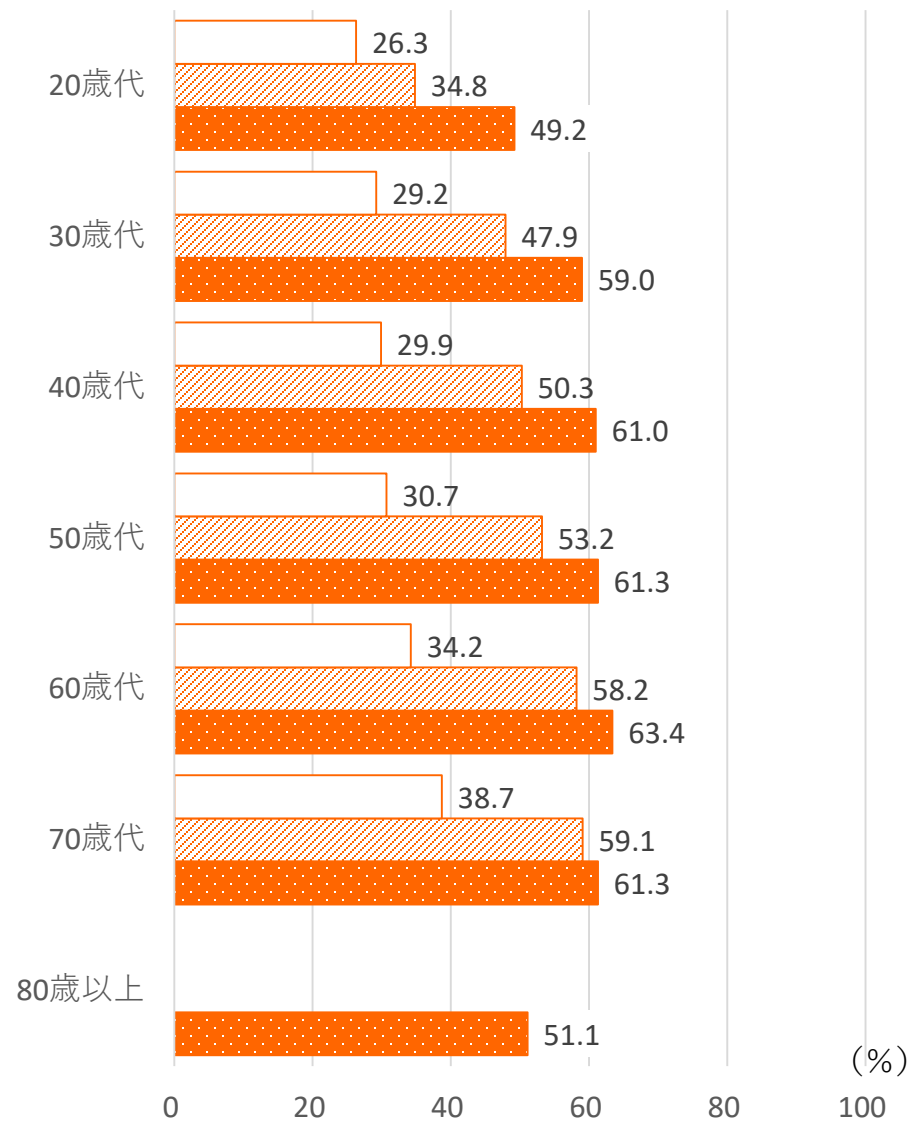
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

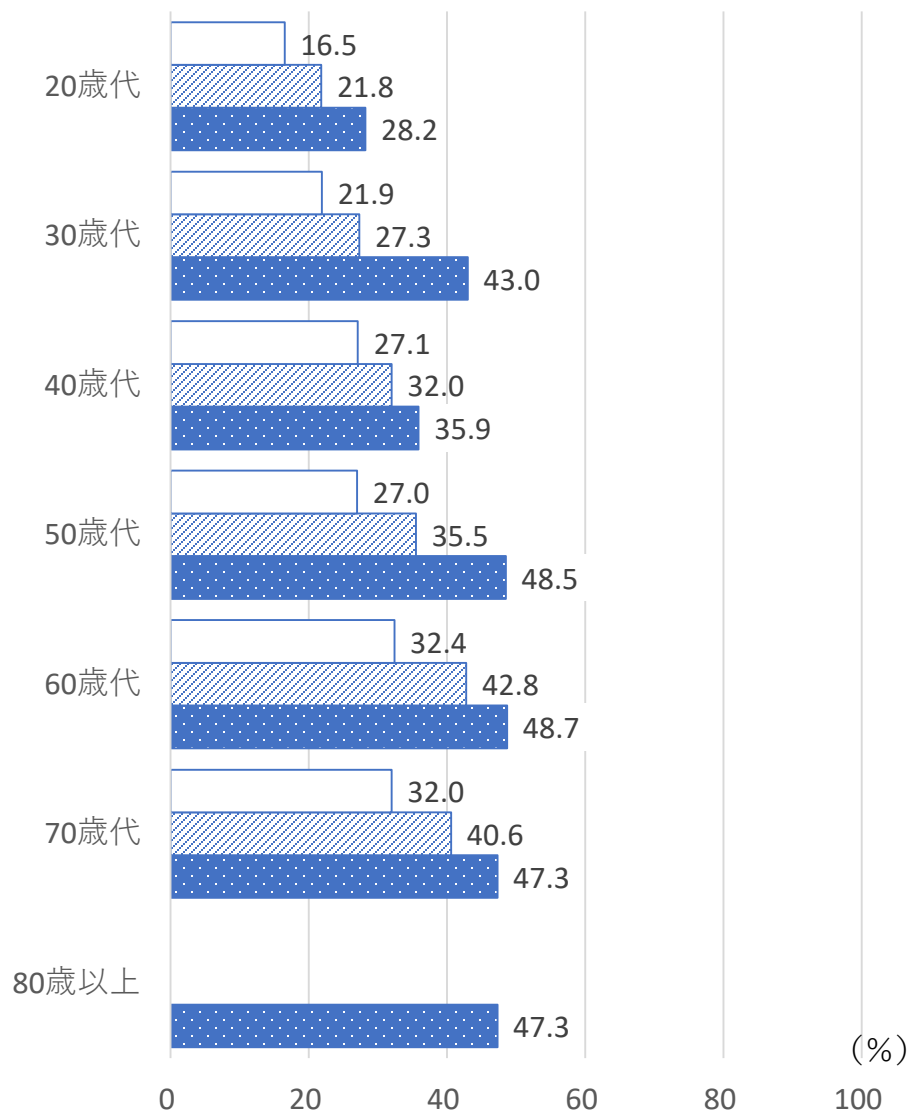
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 年1回以上、歯石除去を受けていますか。

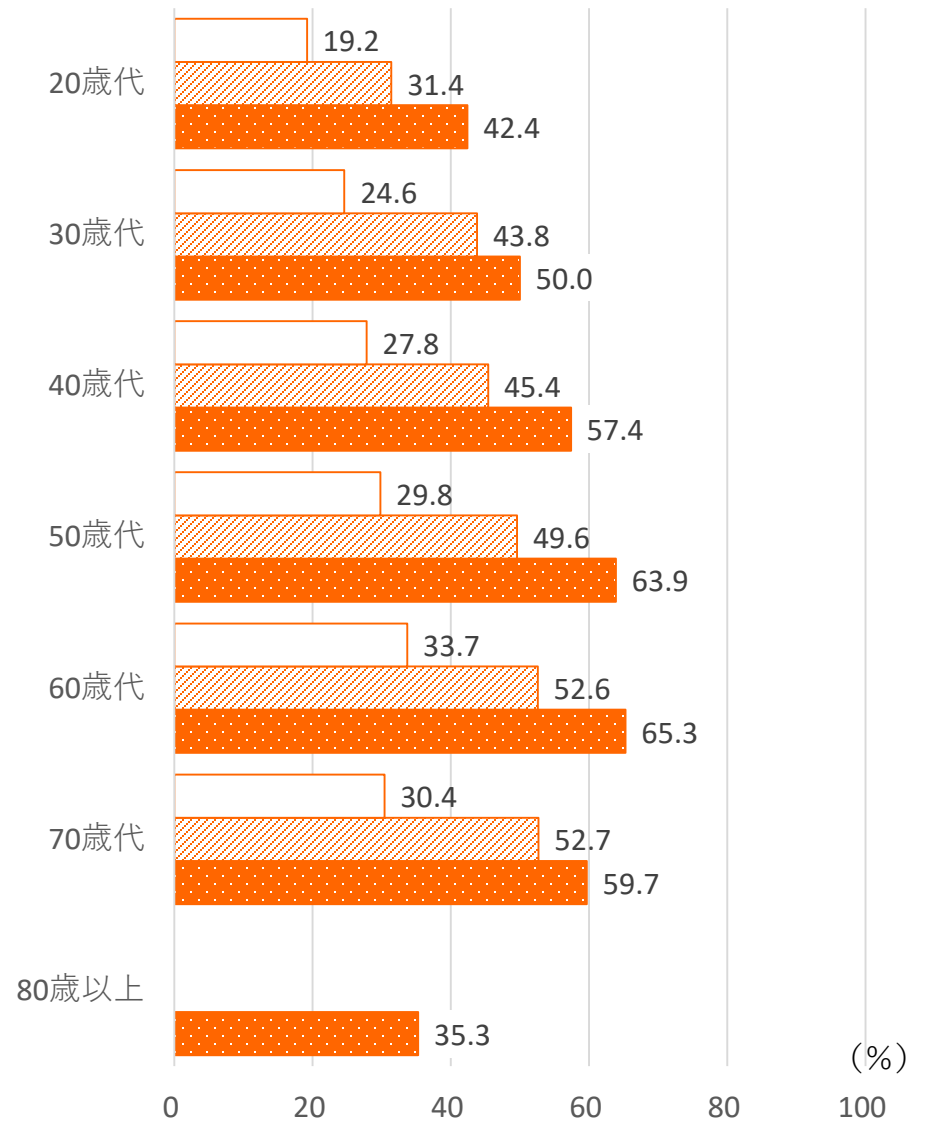
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

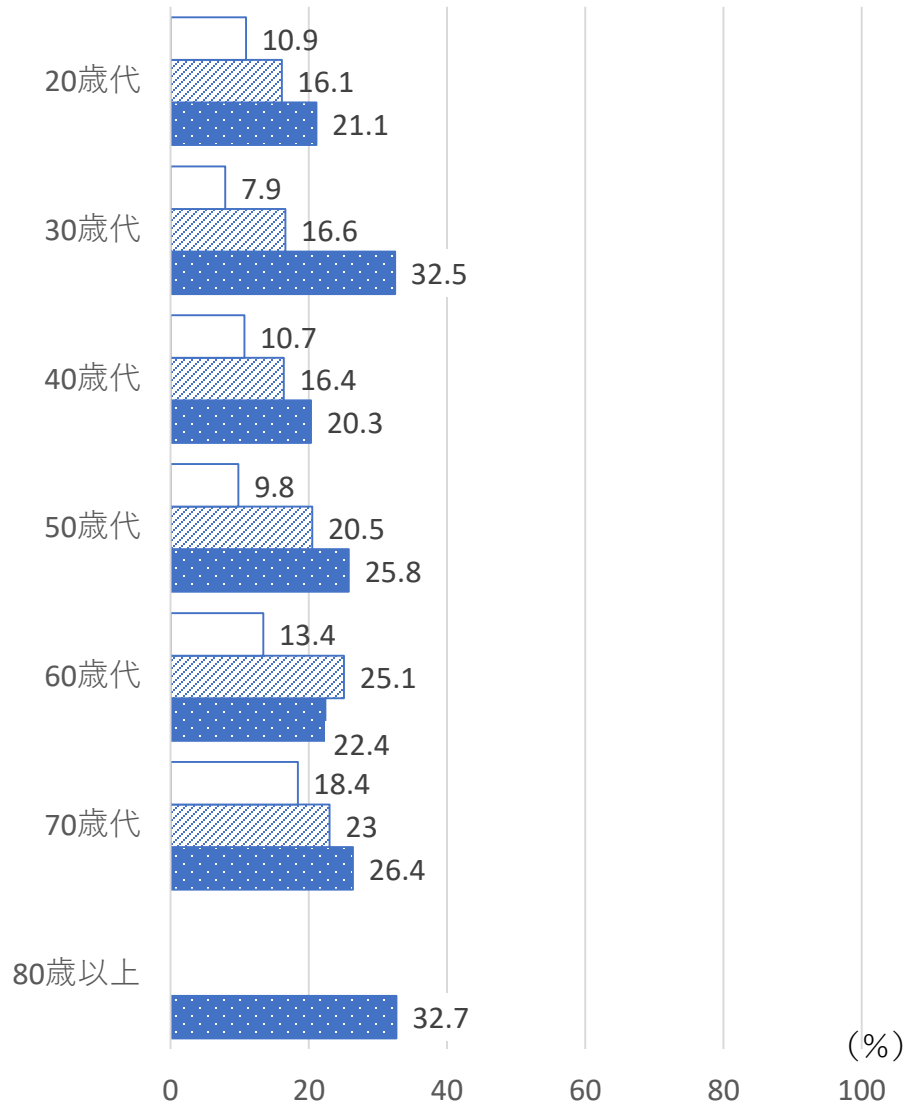
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 年1回以上、歯磨きの指導を受けていますか。

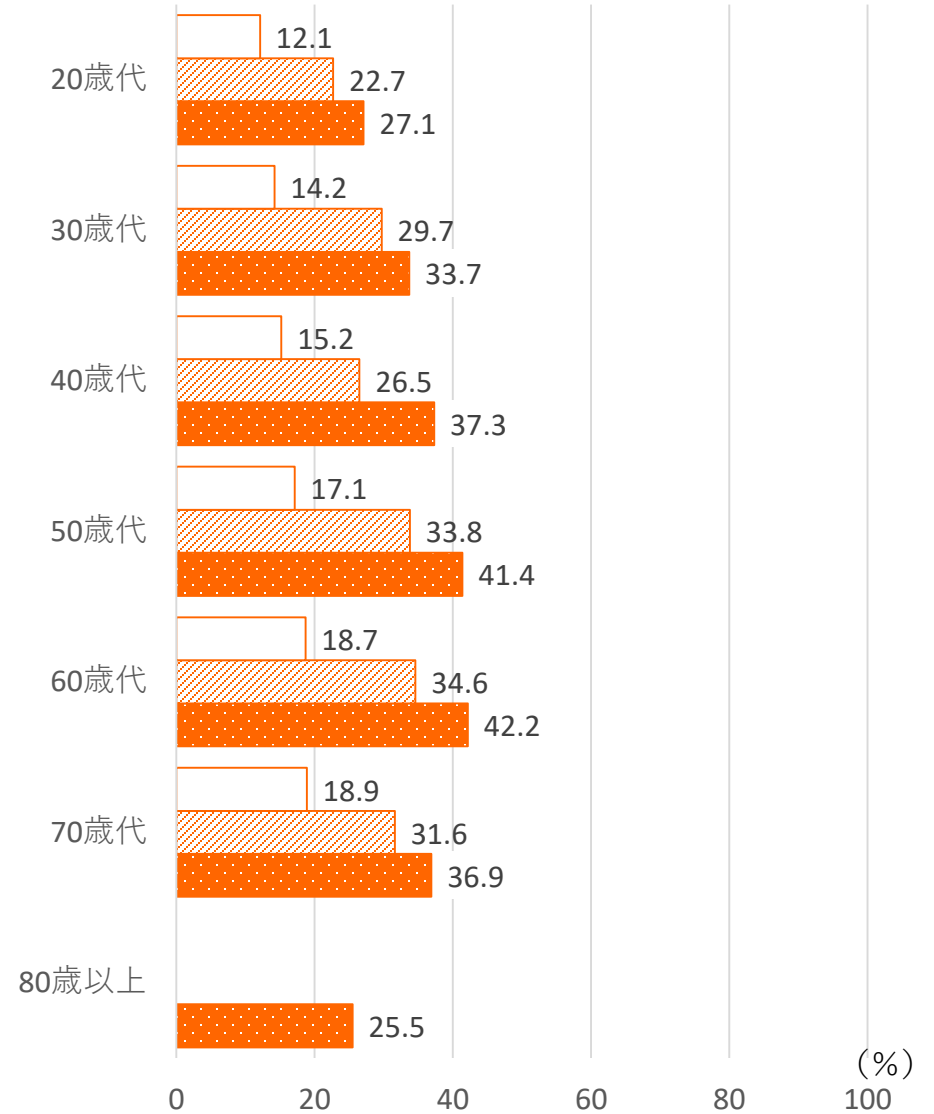
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

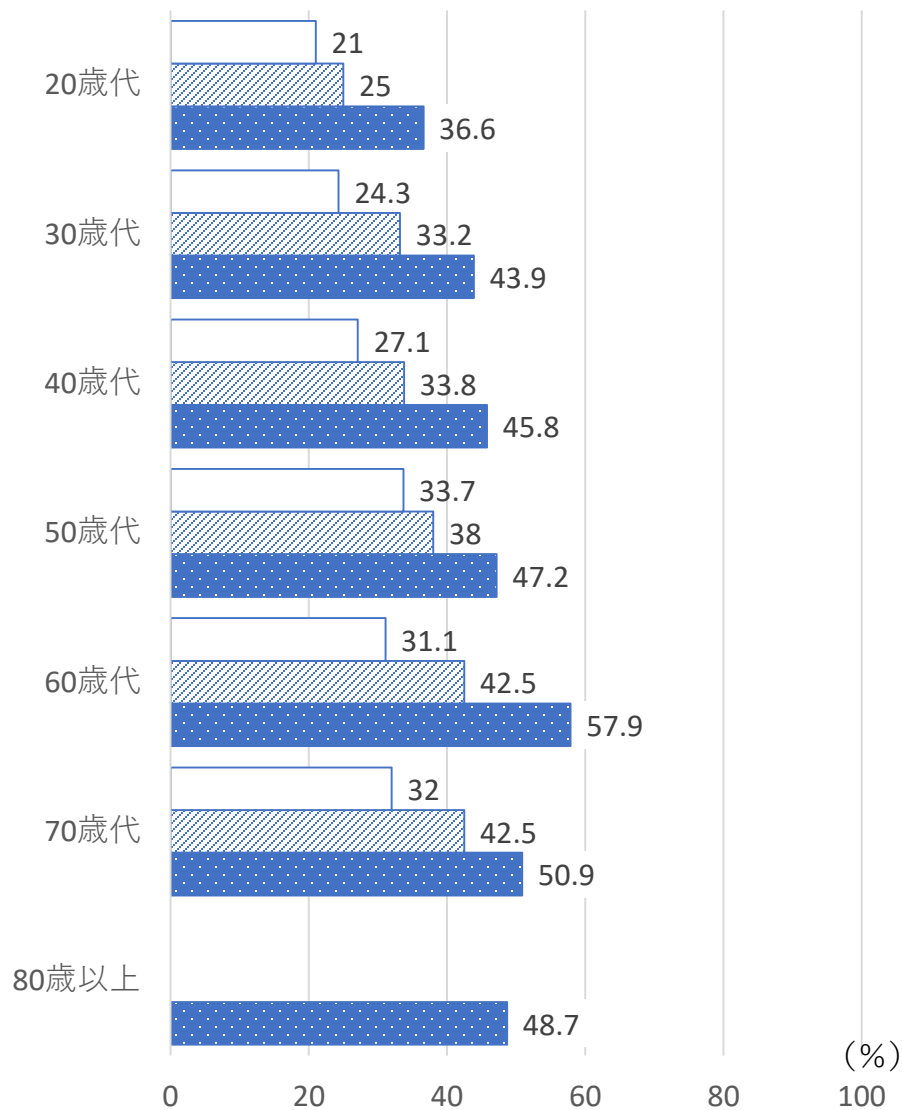
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 日常生活の中で、歯間ブラシ・糸ようじ・デンタルフロスなどを使用していますか。

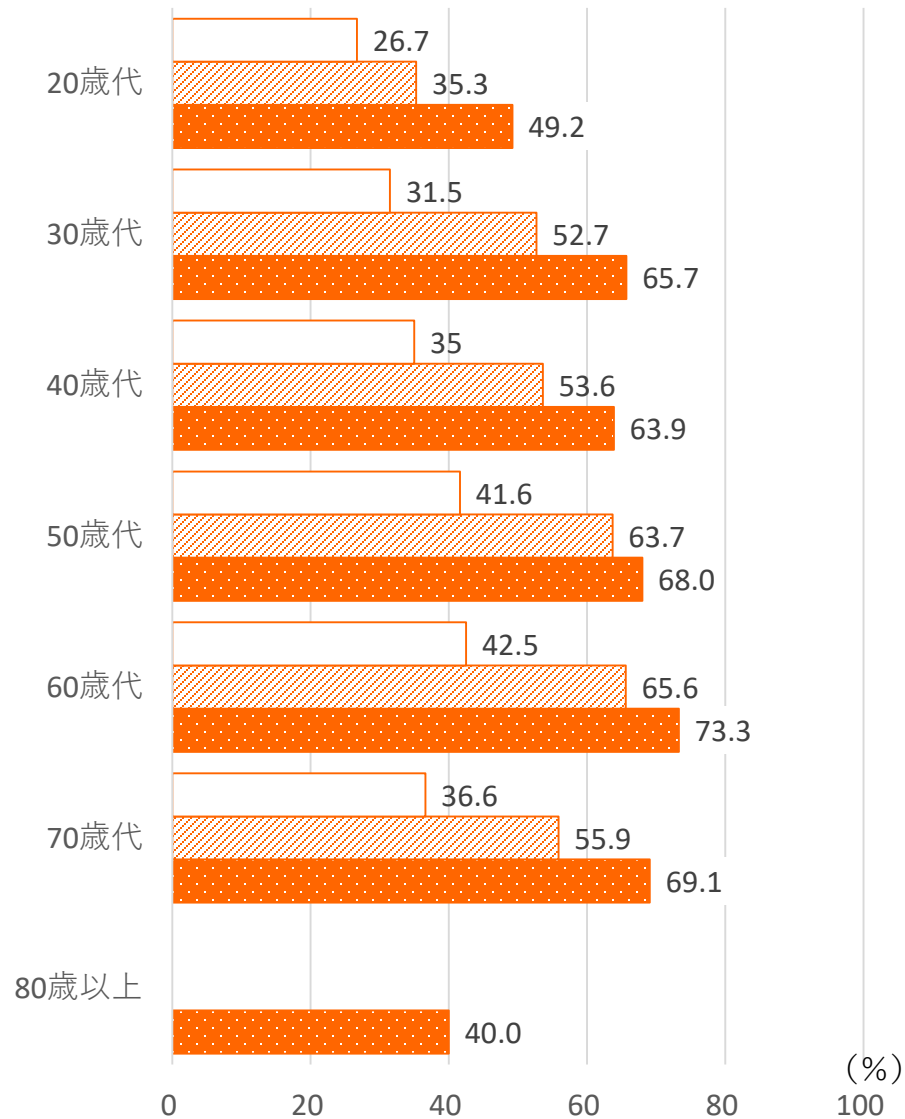
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

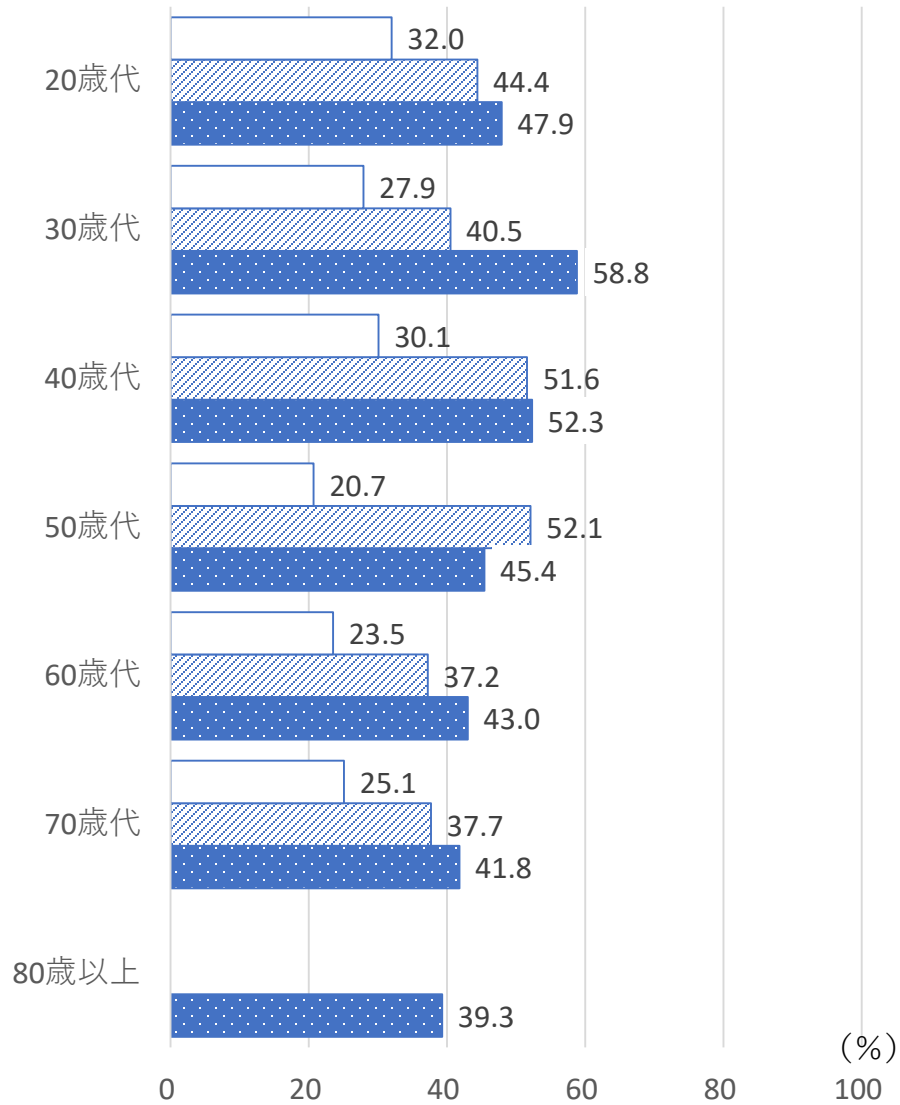
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 日常生活の中で、フッ素入りの歯みがき剤を使用していますか。

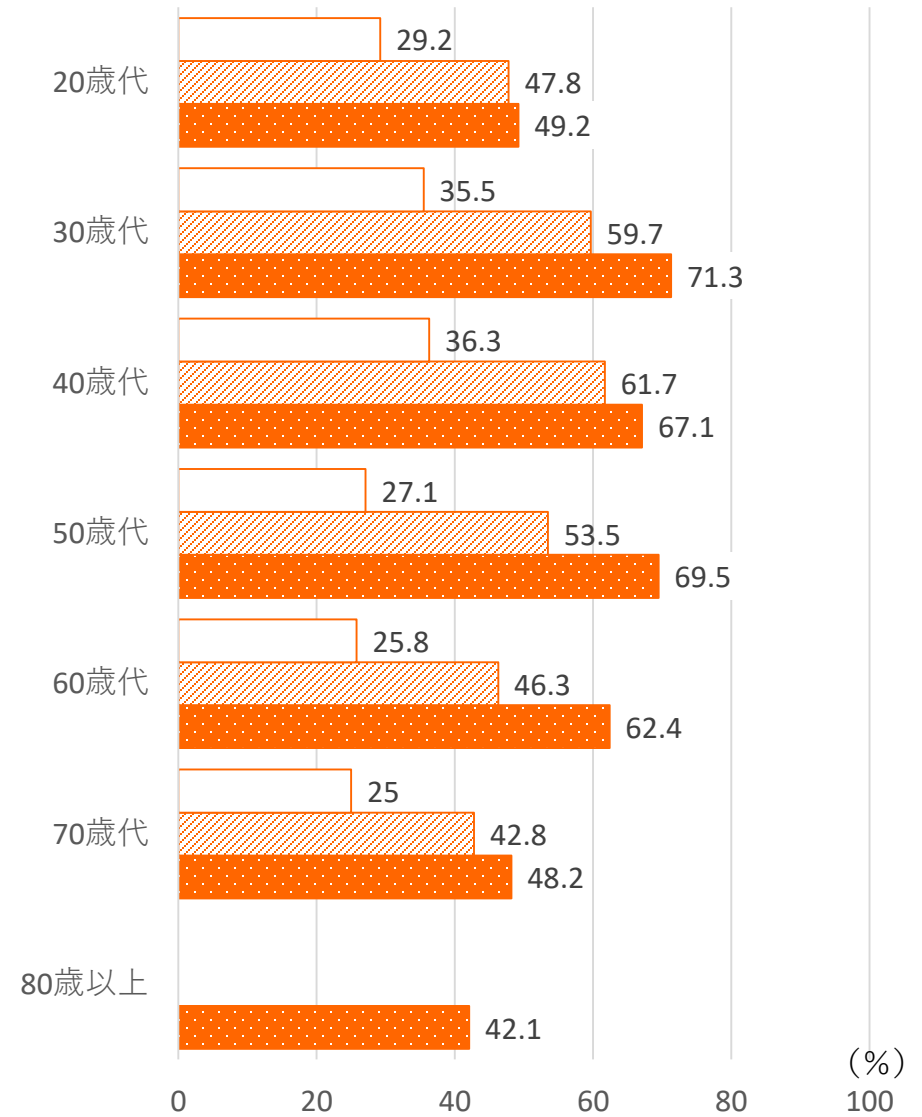
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

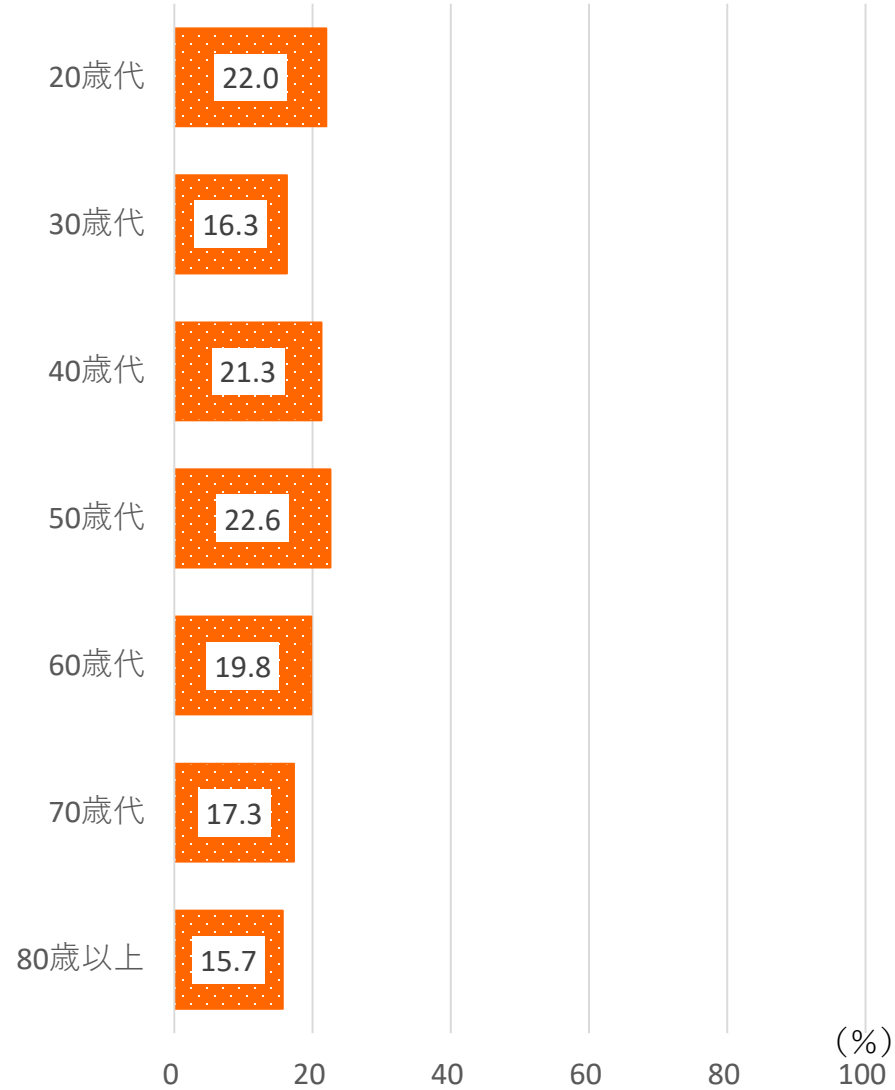
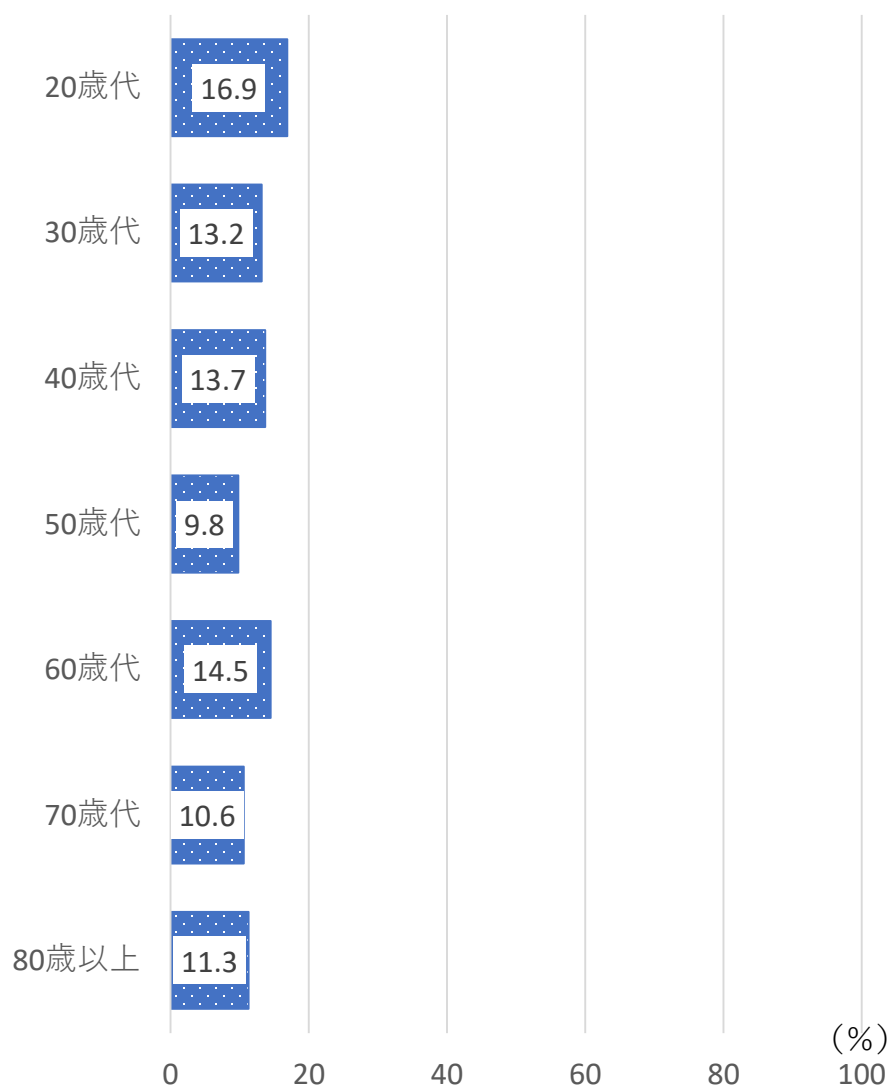
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 日常生活の中で、フッ素洗口を実施していますか。

男性

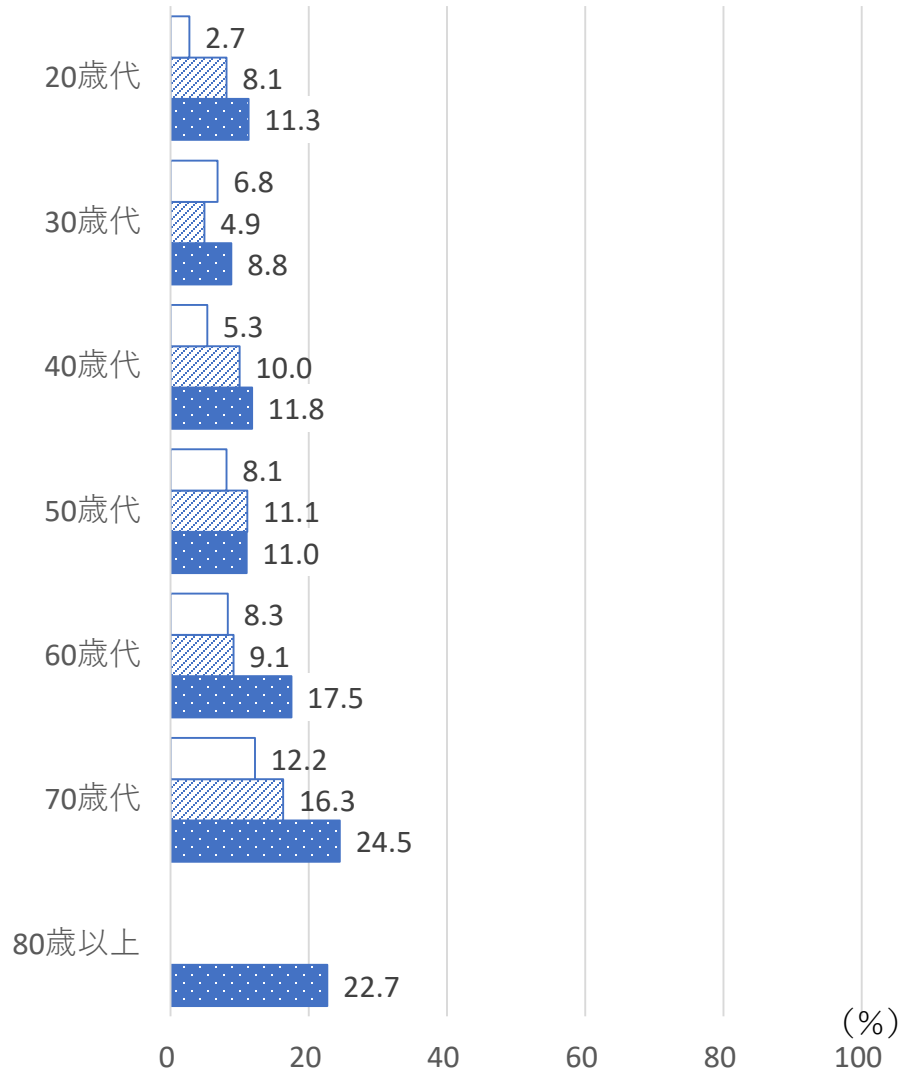
女性



問. 日常生活の中で、砂糖などの糖分を含む嗜好品・飲料は1日1回以下しかとらないようにしていますか。

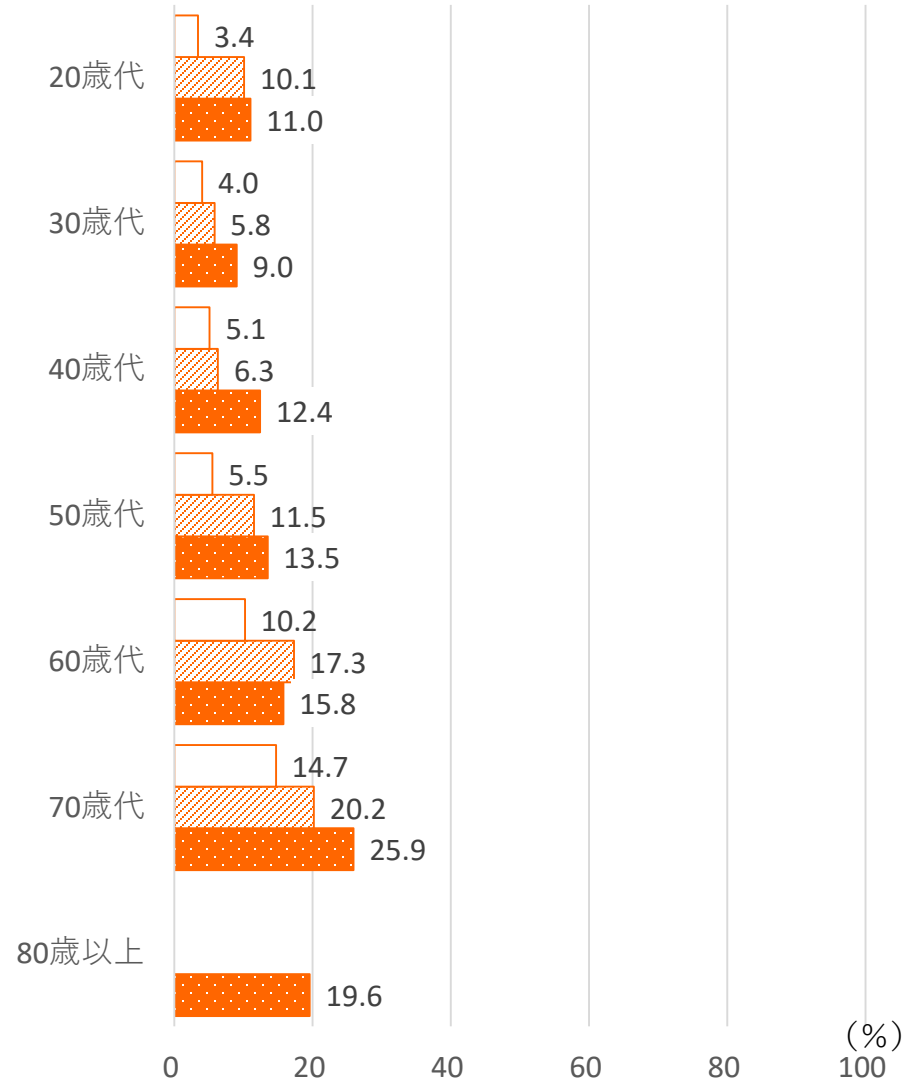
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

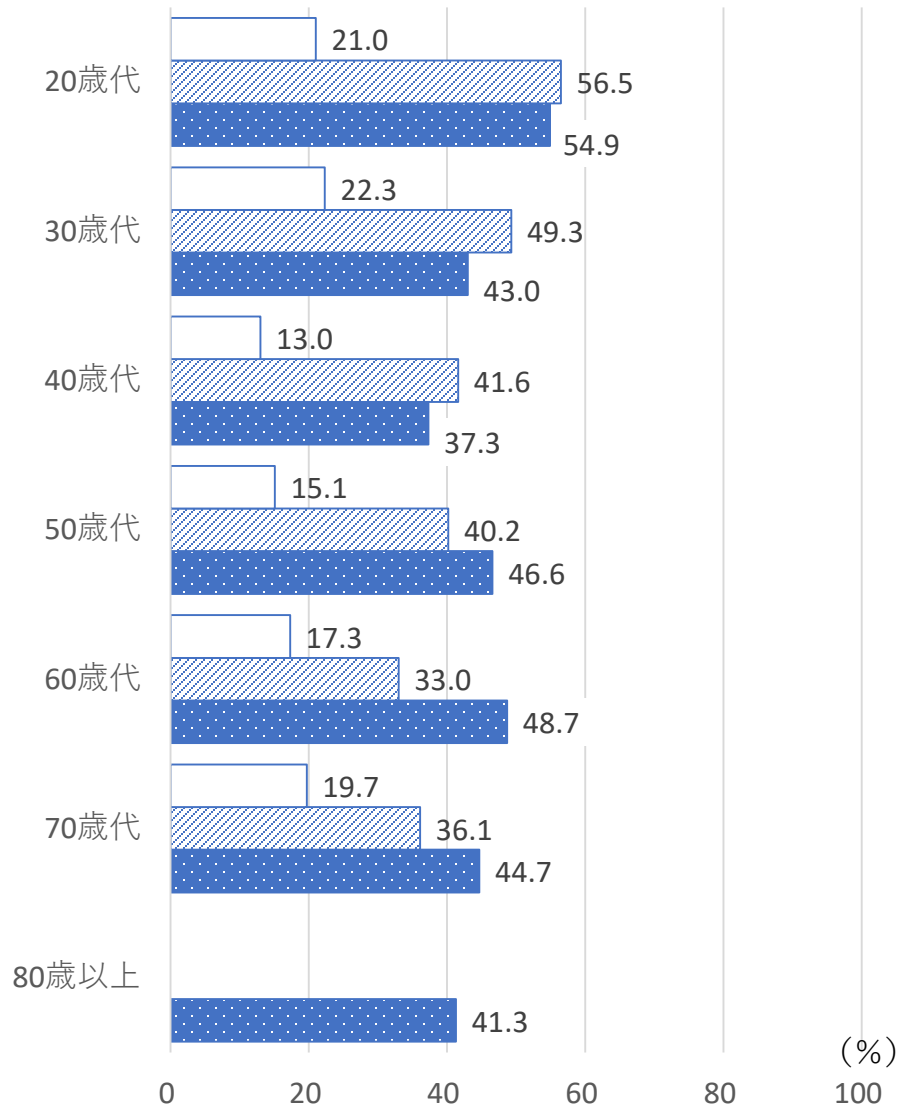
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 日常生活の中で、喫煙しないようにしていますか。

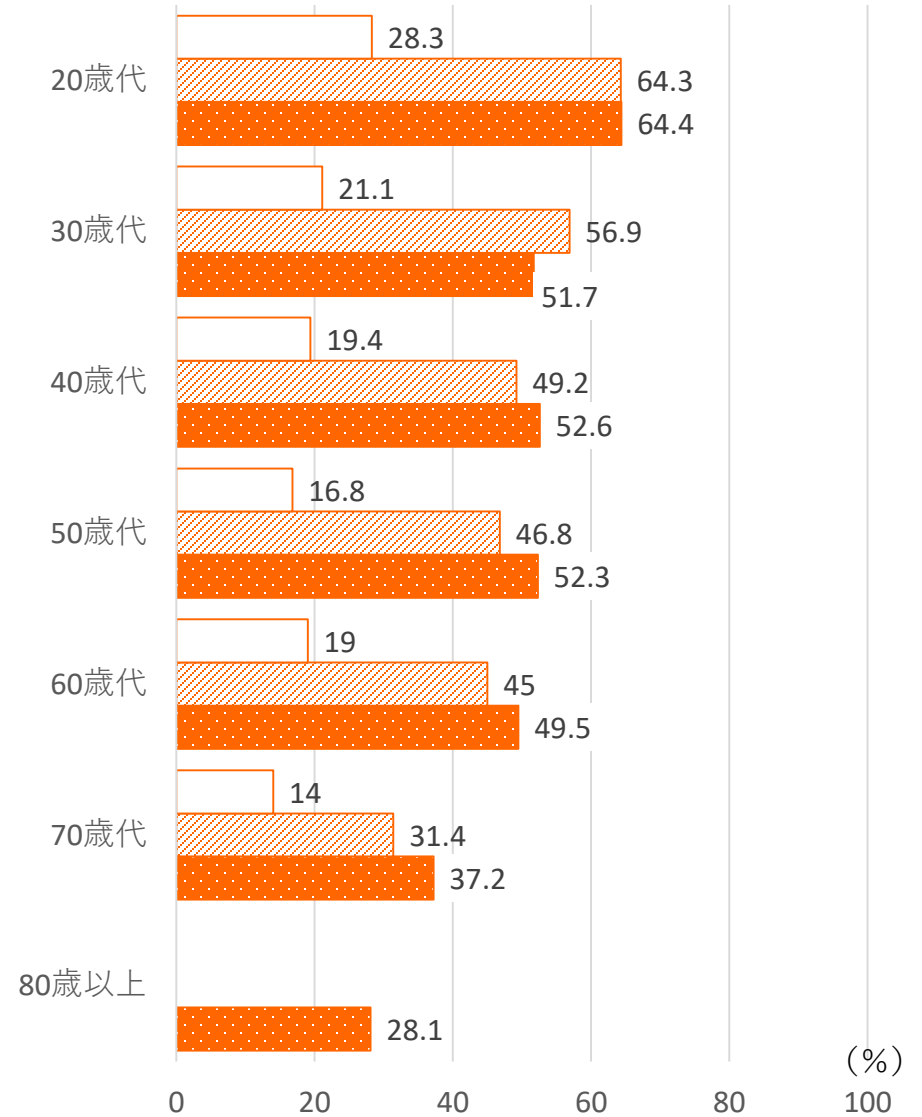
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



女性

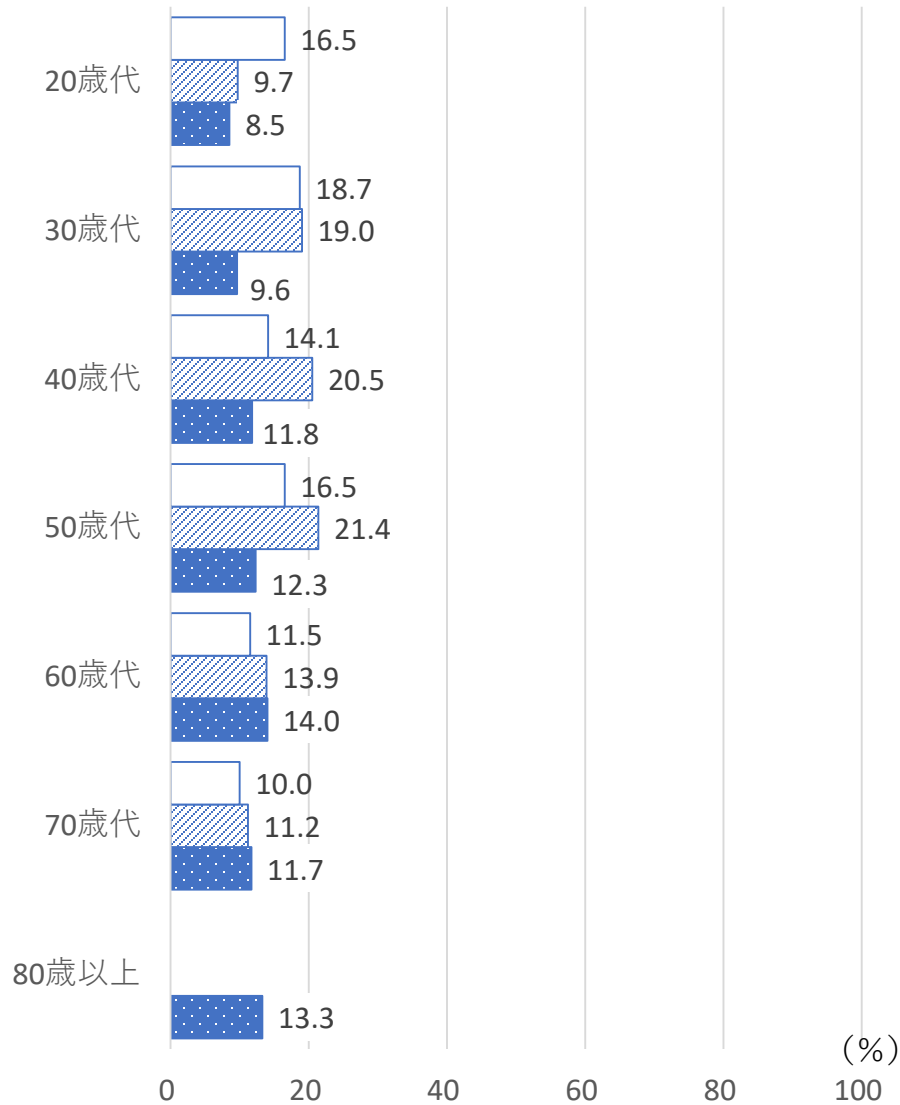
□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



問. 日常生活の中で、ガムやあめはシュガーレスのものを食べるようにしていますか。

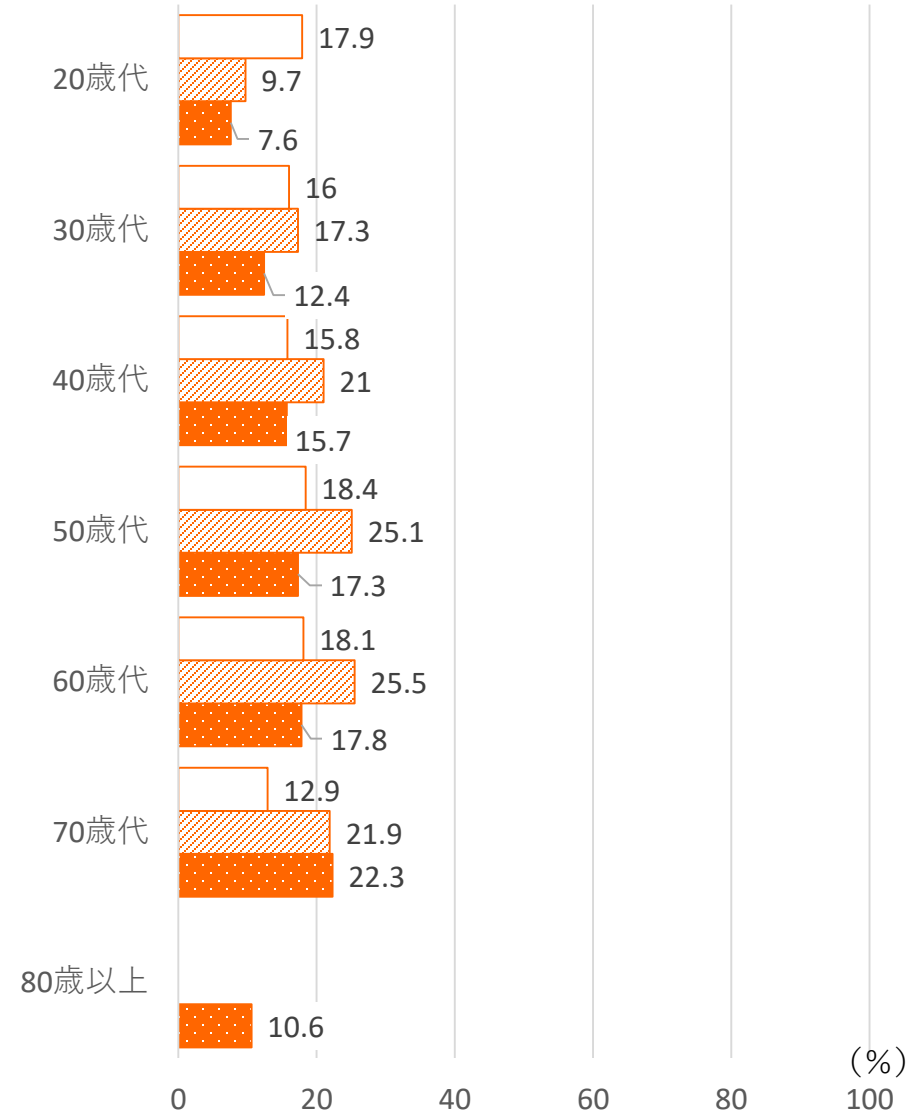
男性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時



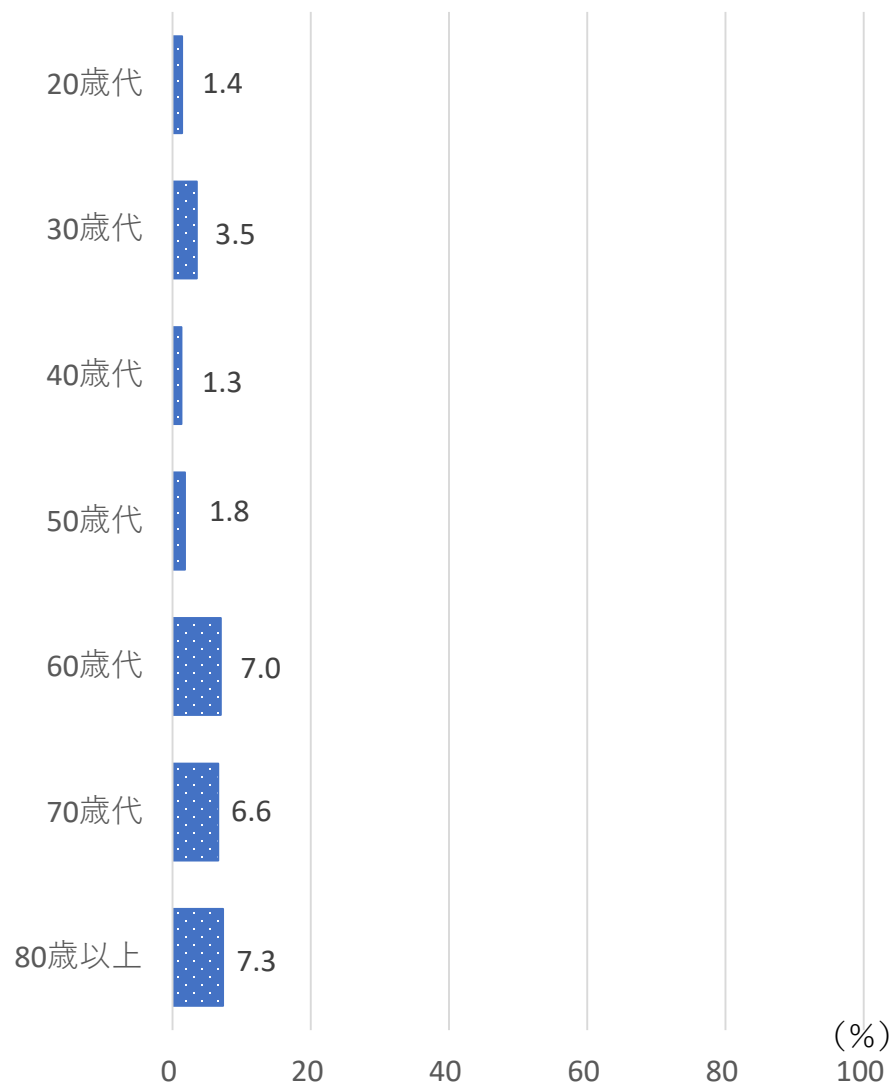
女性

□ 計画策定時 ▨ 中間評価時 ■ 最終評価時

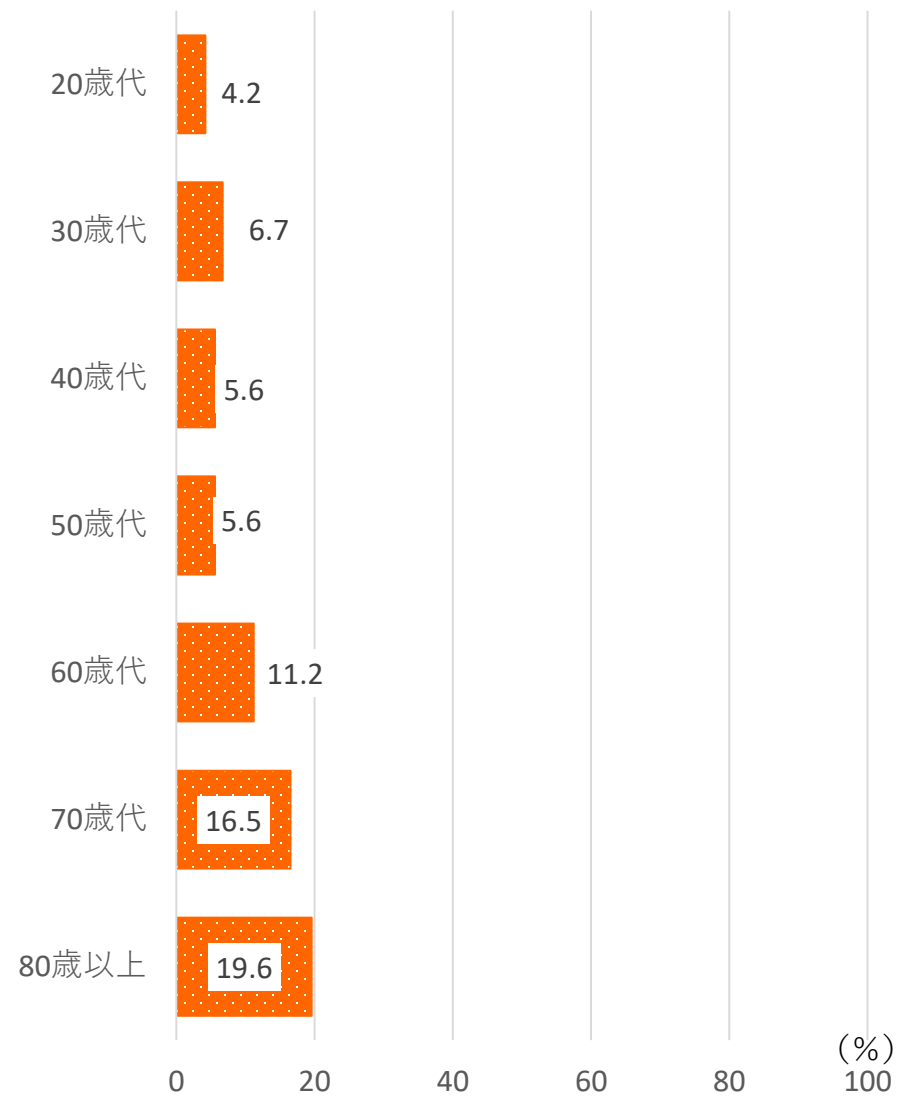


問. 日常生活の中で、お口の体操をしていますか。

男性

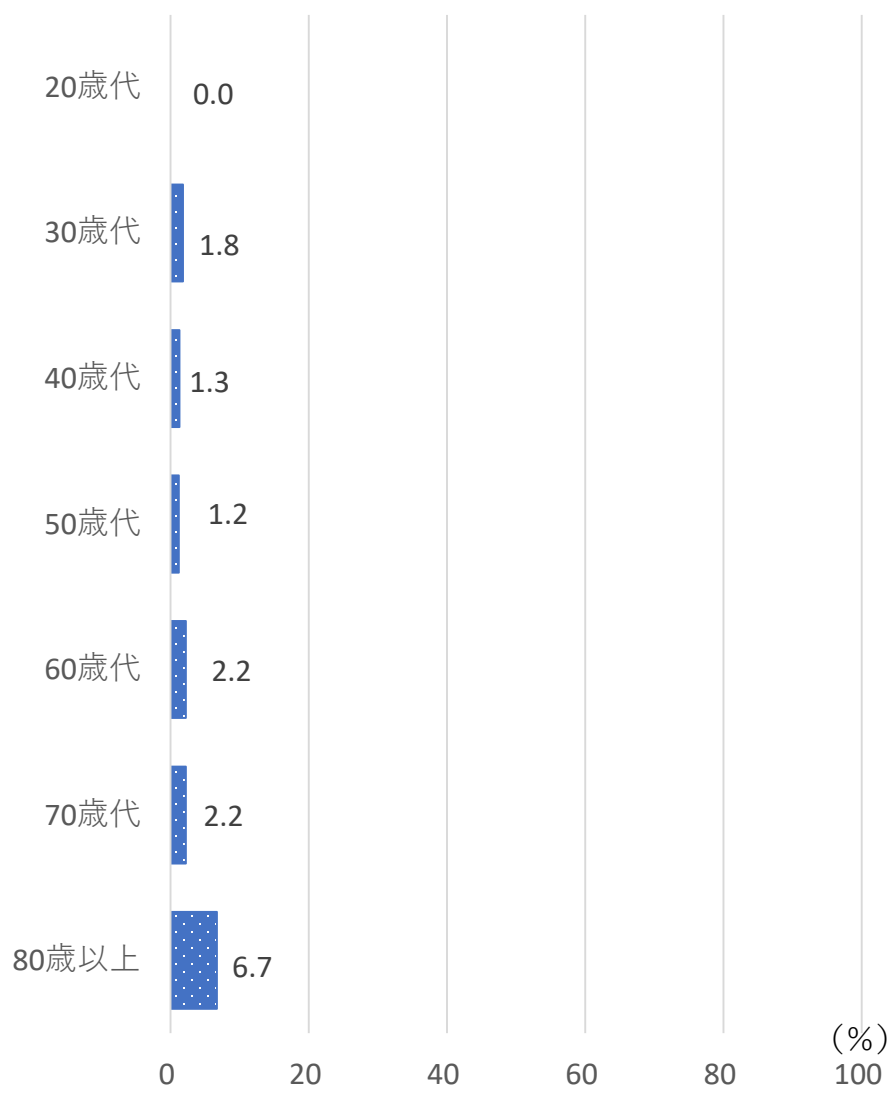


女性

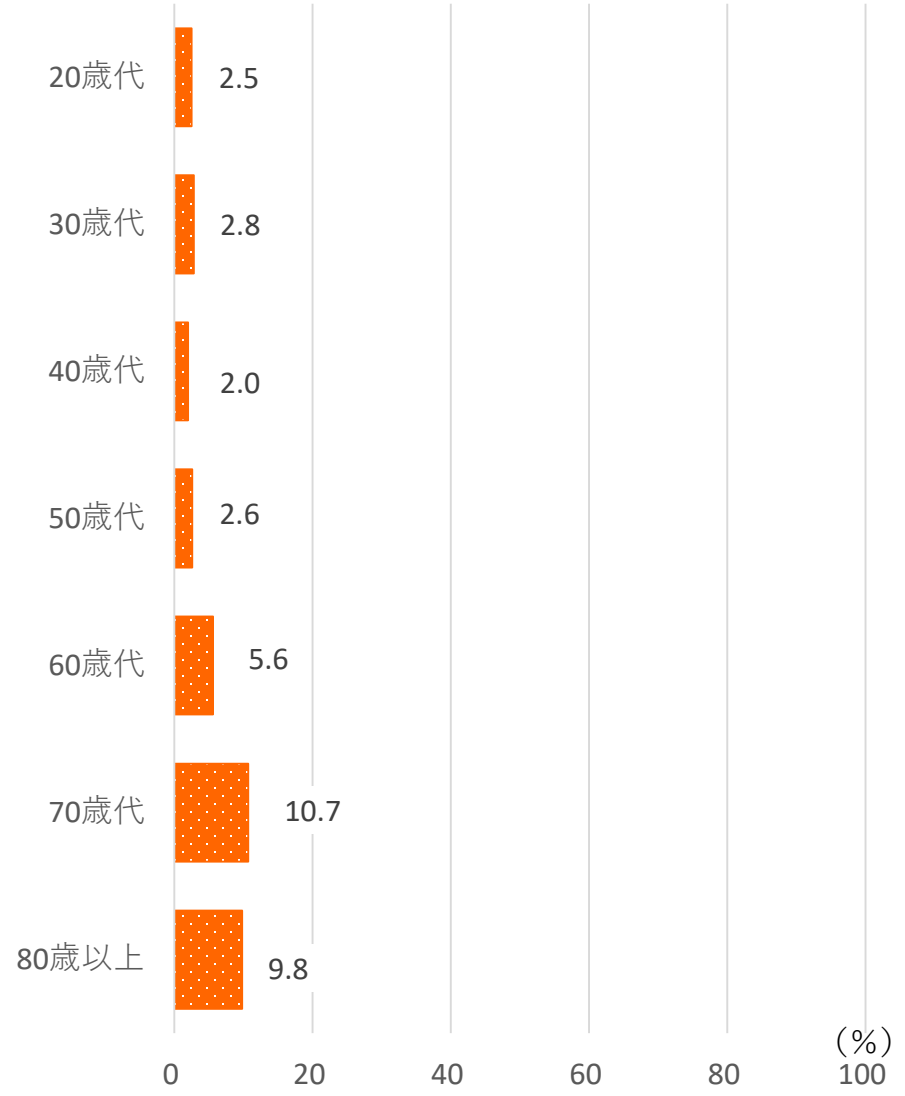


問. 日常生活の中で、唾液腺マッサージを実施していますか。

男性

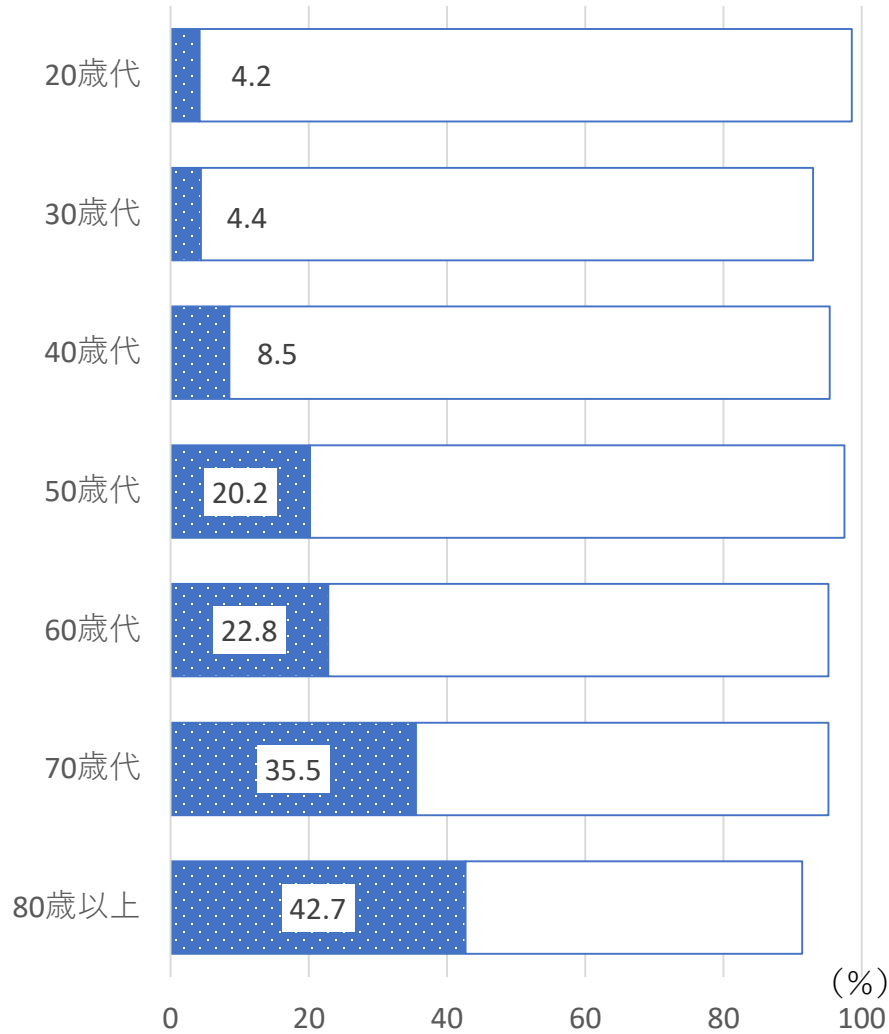
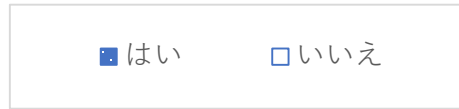


女性

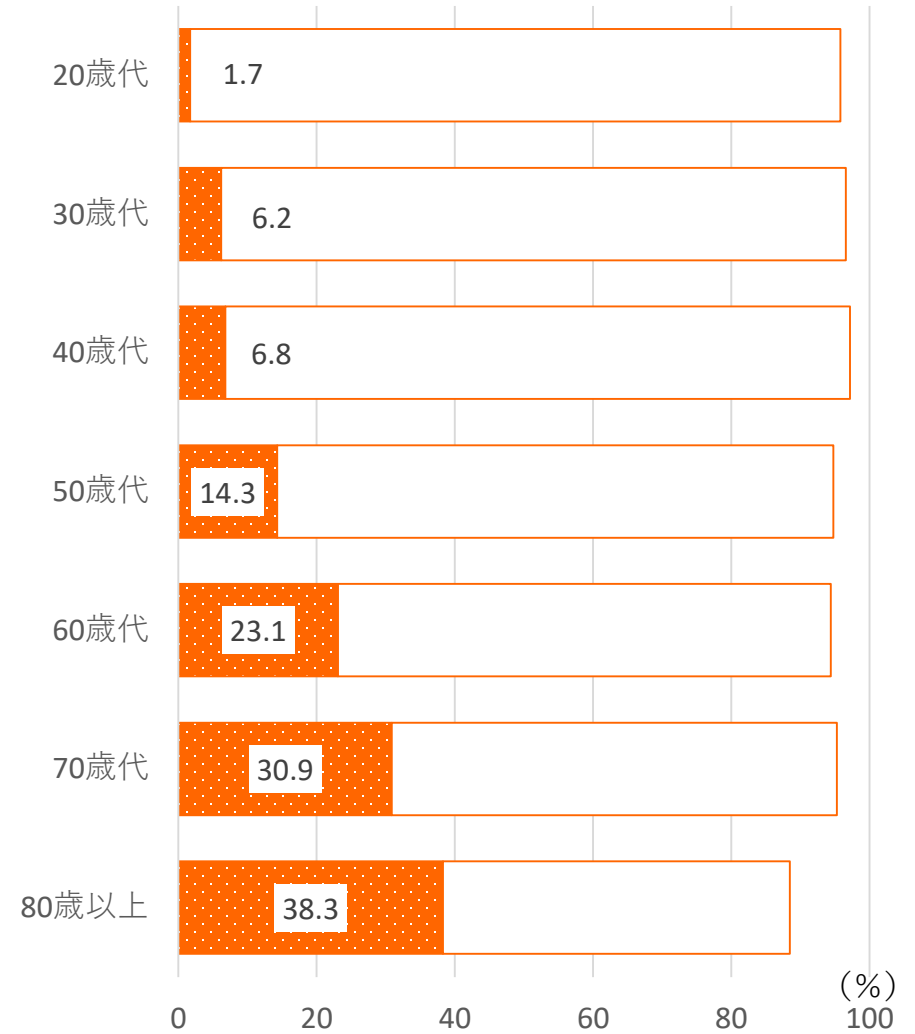


問. (口腔機能の状況について) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

男性

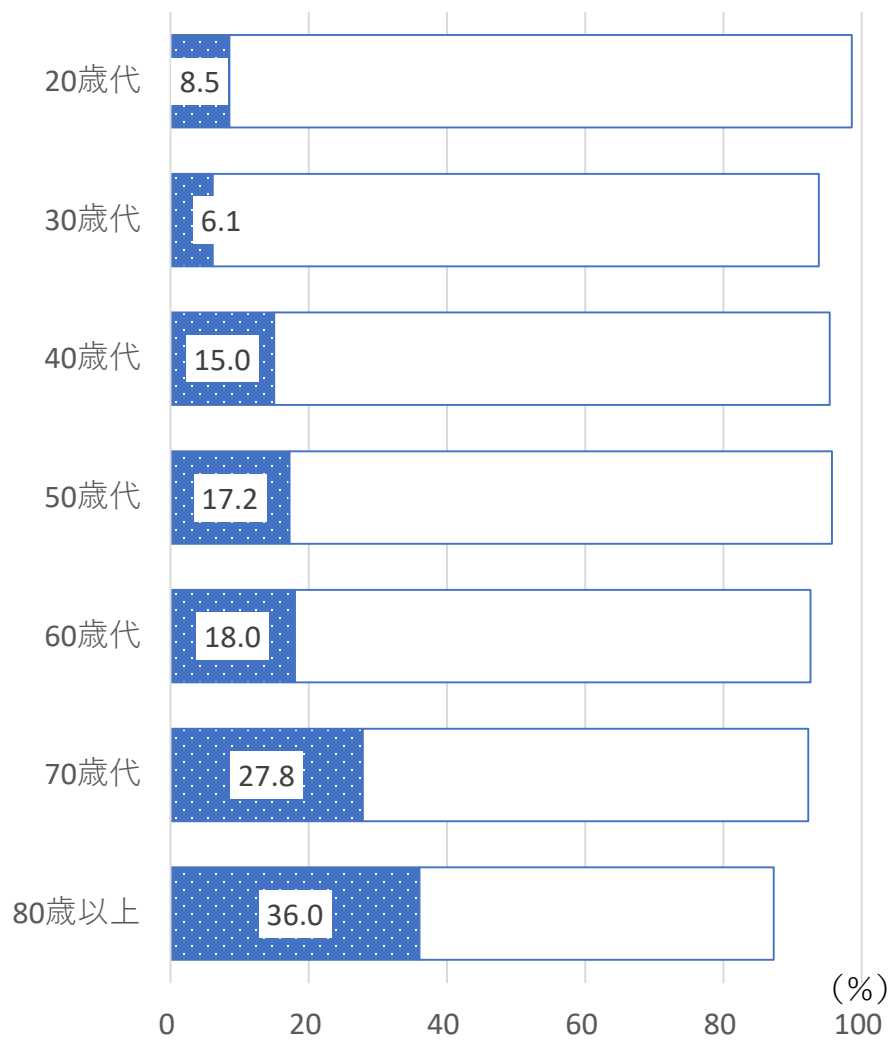
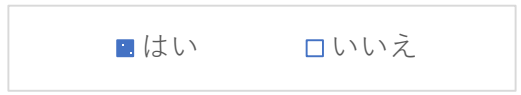


女性

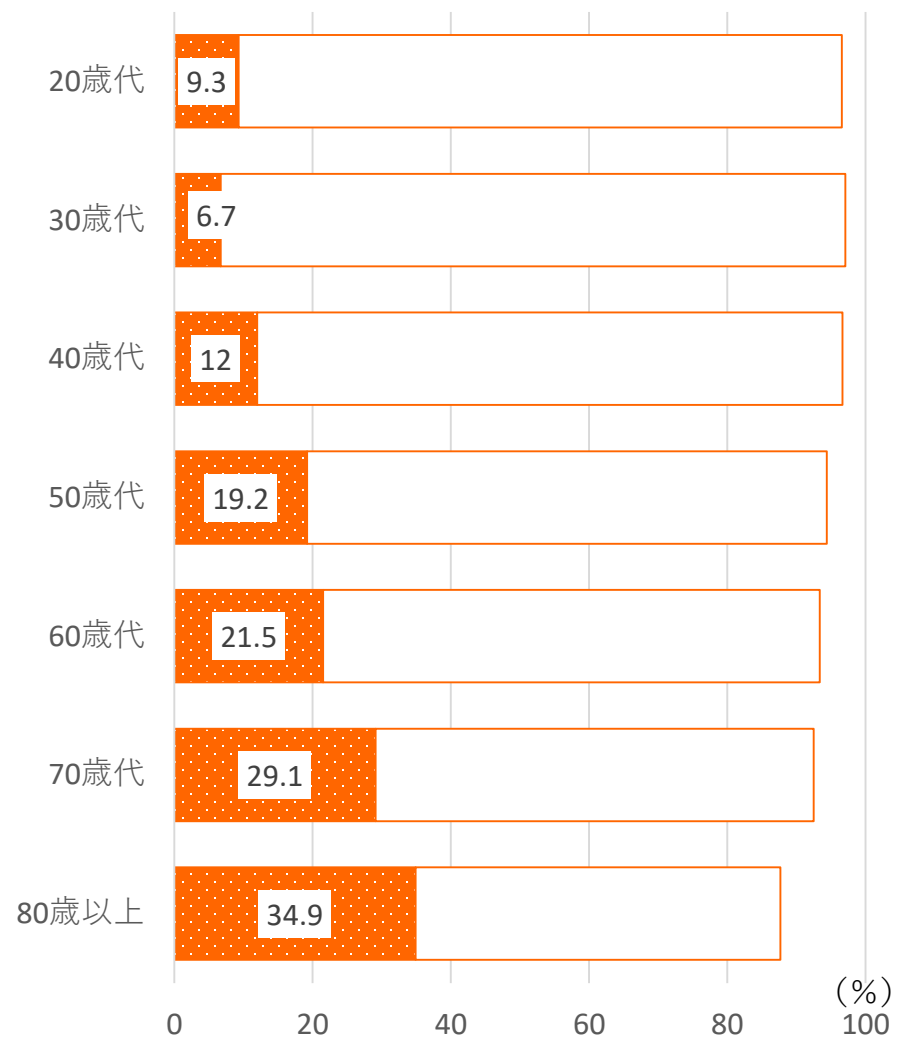


問. (口腔機能の状況について) お茶や汁物等でむせることがありますか。

男性

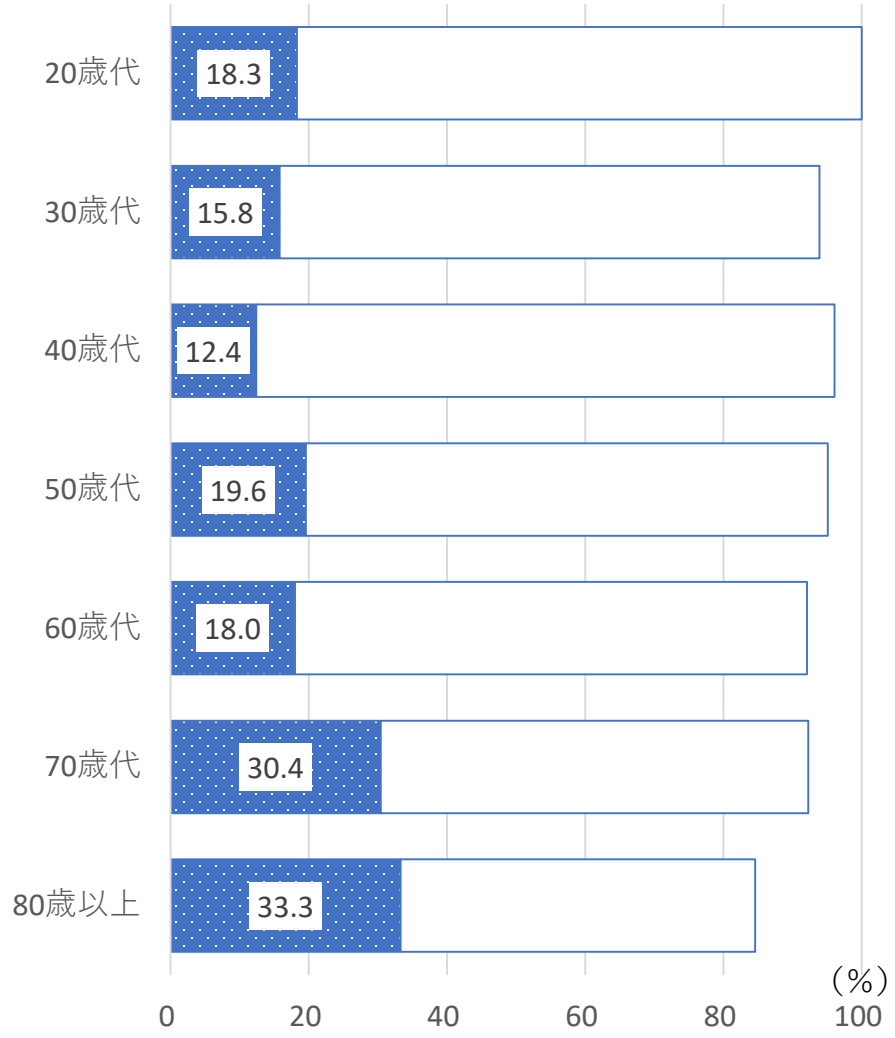
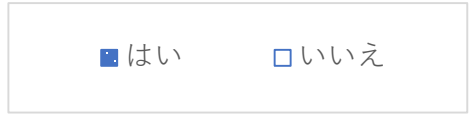


女性

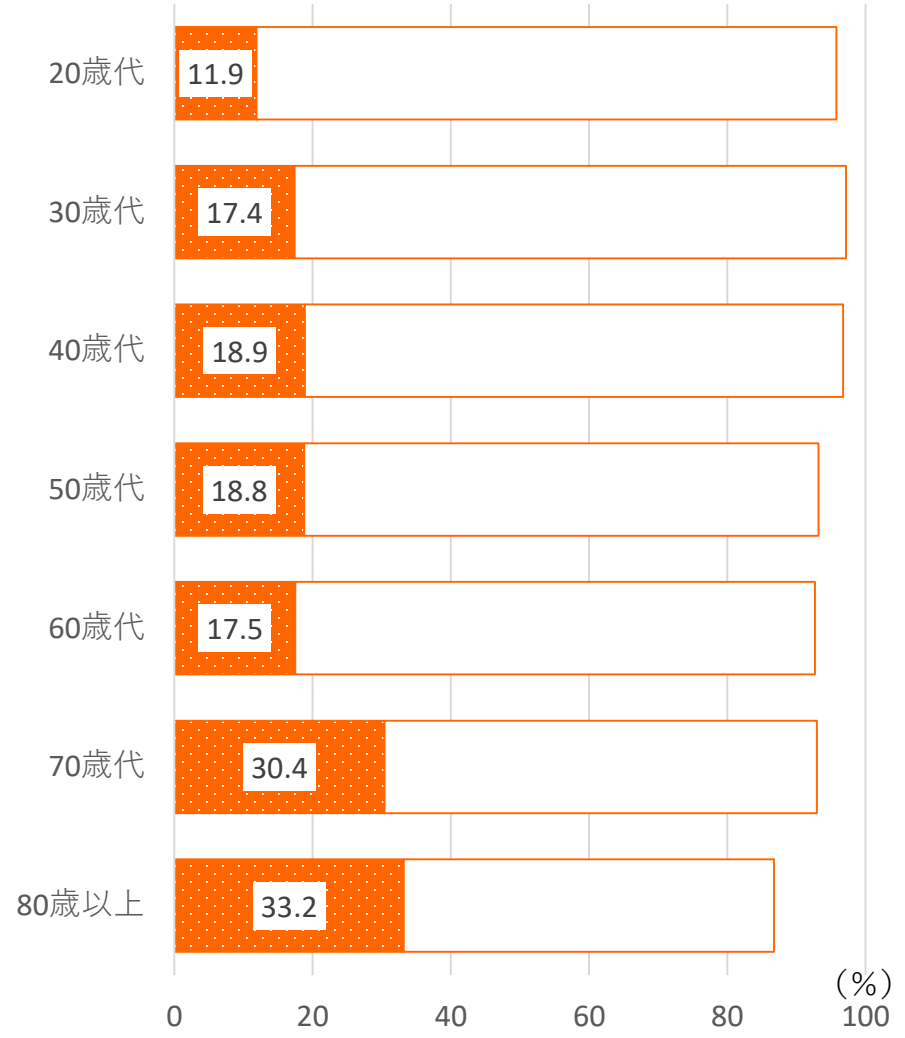
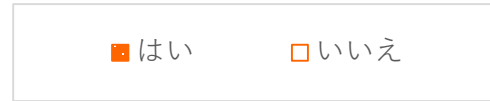


問. (口腔機能の状況について) 口の渇きが気になりますか。

男性



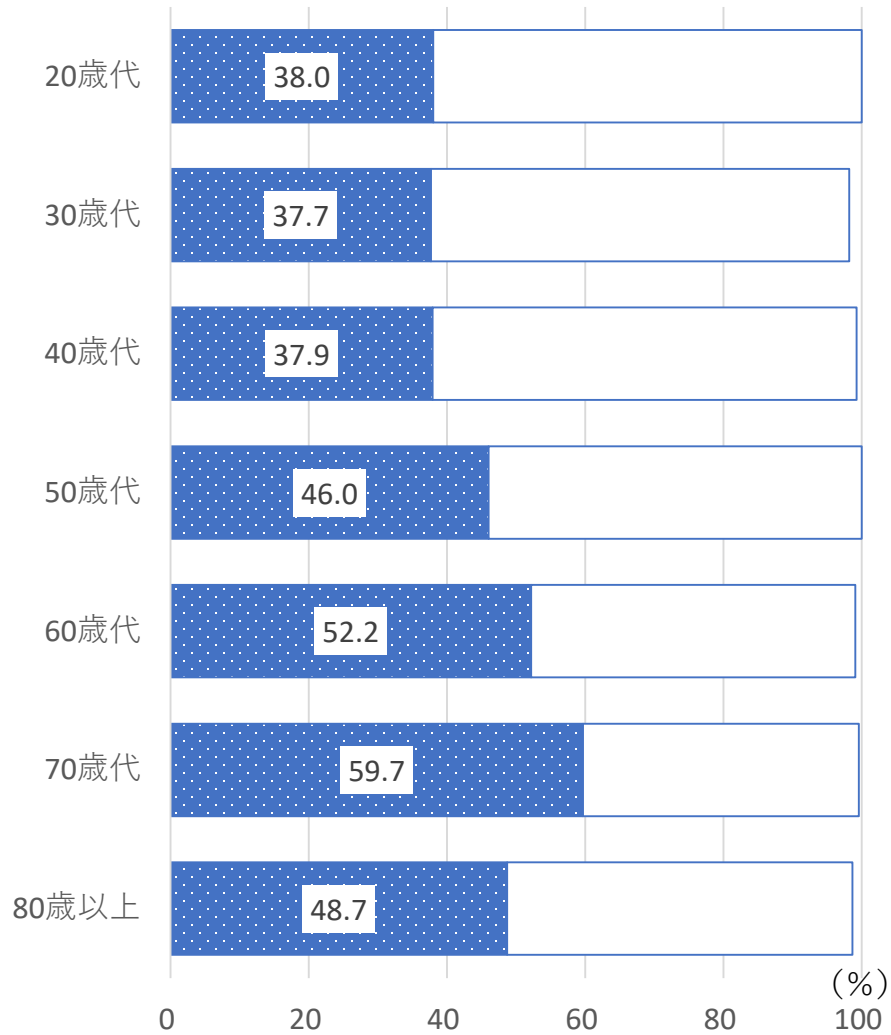
女性



問. 糖尿病が歯周病と関係していることを知っていますか。

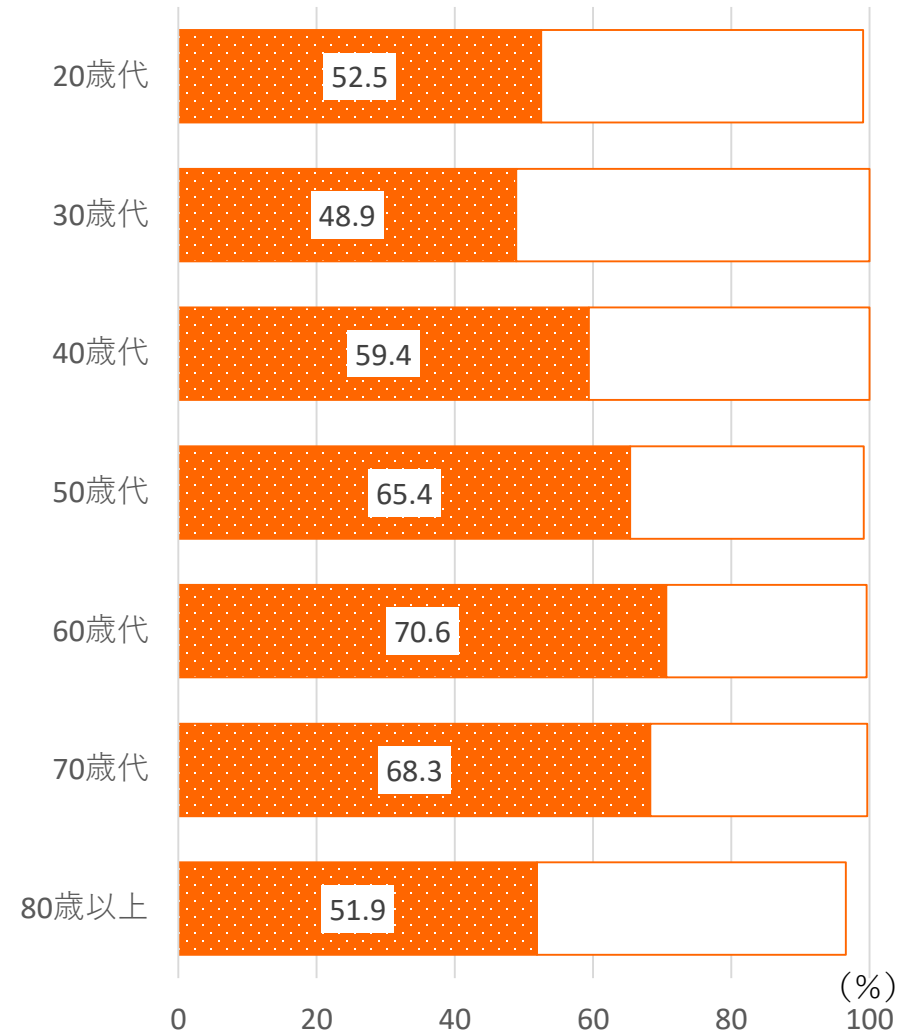
男性

■ はい □ いいえ



女性

■ はい □ いいえ

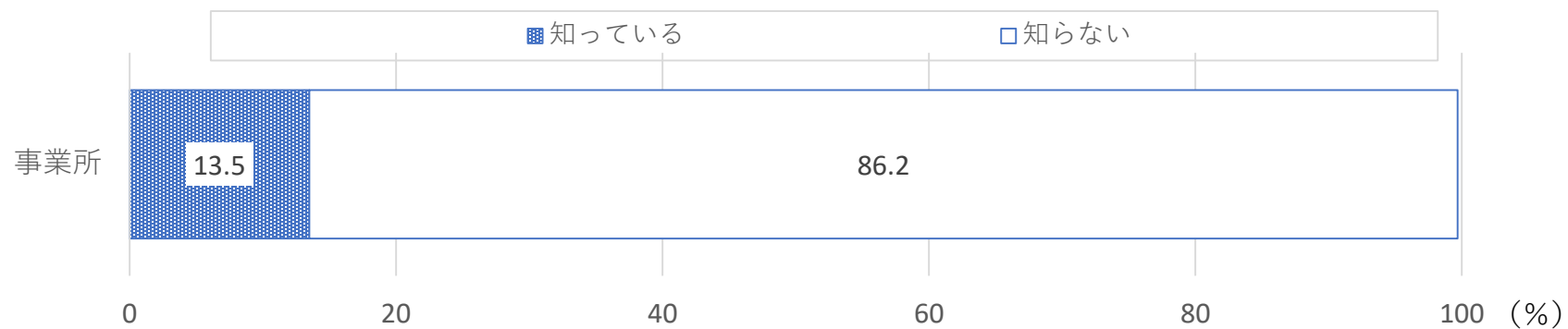


調査結果のまとめ (市民)

- オーラルフレイルについて内容を知っていたのは、約1割であった。
- 普段からゆっくりよく噛んで食べている人は、30～50歳代で低く、年齢が高くなるにつれて、多くなっている。
- 喫煙率は、40歳男性が約3割で最も高かった。
- 残存歯数は、計画期間中に増加しており、最終評価時点では、80歳代以上の4割弱が21本以上あると回答していた。
- 歯の健康について、気をつけている人は、多くの項目で、計画期間中に増加していた。
- 約半数の人が、年1回以上、歯科検診を受けていた。
- 歯間部清掃用器具やフッ素入り歯磨剤は、男性よりも女性の方が多く使用していた。
- 口腔機能は、年齢が高くなるにつれ、低下していたが、20～30歳代でも約1割の人に、低下が認められた。
- 約半数の人が、糖尿病と歯周病が関係することを知っていた。

②事業所への調査結果

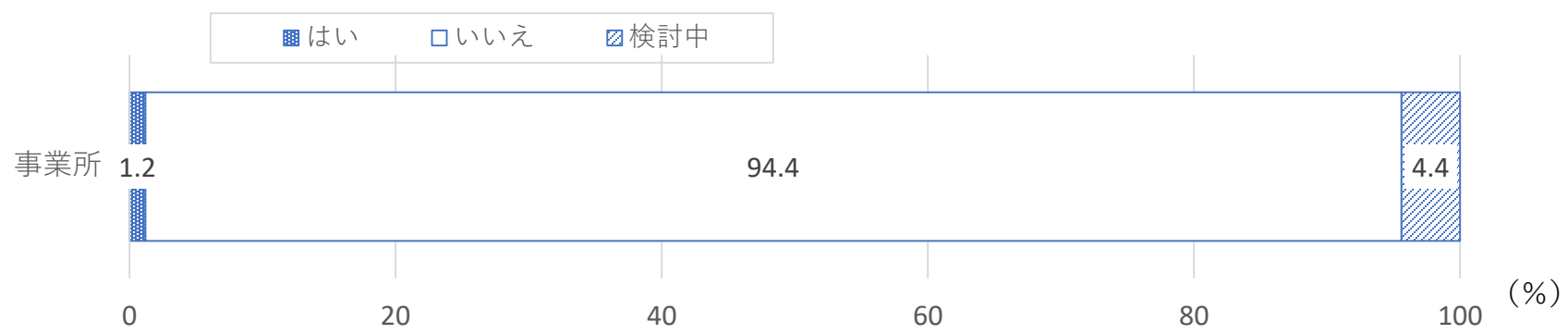
問. 「噛ミング30」運動を知っていますか。



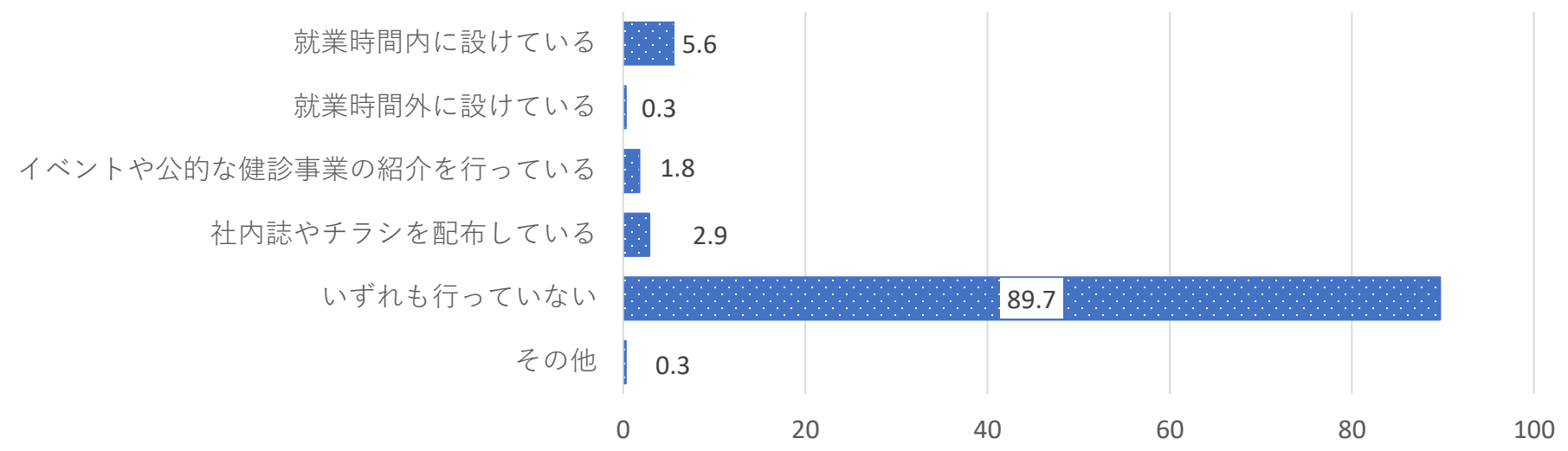
問. 「噛ミング30」と銘打った運動に取り組んでいますか。



問. 職場の定期健康診断として、歯科検診を行っていますか。



問. 歯科の講話や保健指導を受ける機会を設けていますか。



調査結果のまとめ (事業所)

- 職場の定期健康診断として、歯科検診を実施している事業所は、1.3%であり、就業時間内に、歯科の講話や保健指導を受ける機会がある事業所は、5.6%であった。
- よく噛んで食べることなどに取り組んでいる事業所は、3.5%であった。

岡山市歯科保健基本計画 最終評価アンケート調査結果

調査目的

現歯科保健基本計画の最終評価を実施するにあたり、健康市民おかやま21（第2次）の最終評価に向けたアンケートだけでは補足しきれない部分を、学校園、障害者（児）入所施設、要介護者入所施設を対象としたアンケート調査を実施することで把握する。

調査期間

令和4年9月30日～令和5年1月4日

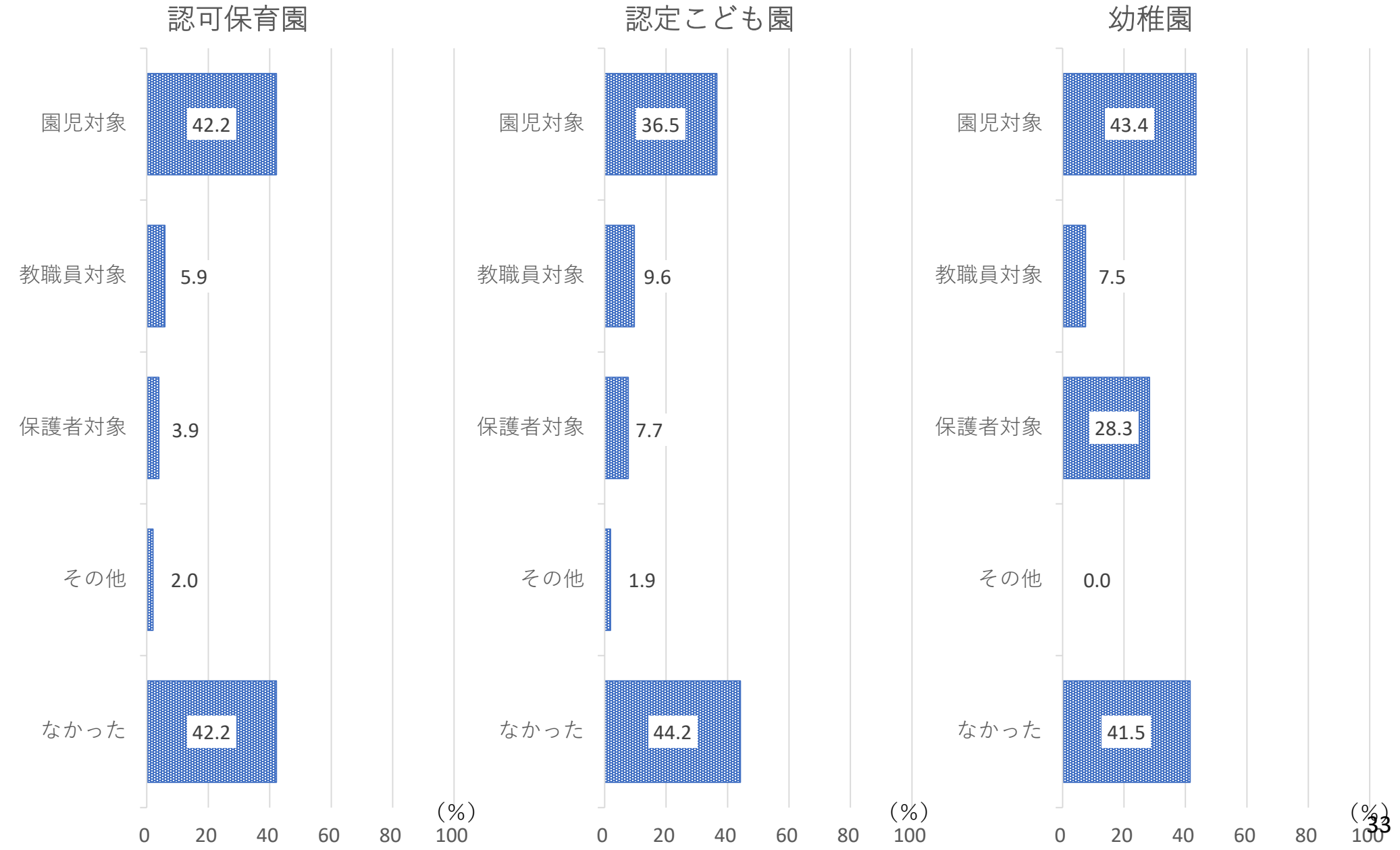
調査対象

区分		対象数（発送数）	回収数	回収率	
学校園	岡山市認可保育園	102	90	88.2%	
	認定こども園	岡山市立	19	19	100.0%
		その他	33	29	87.9%
		計	52	48	92.3%
	幼稚園	岡山市立	39	39	100.0%
		その他	14	13	92.9%
		計	53	52	98.1%
	小学校（分校含む）	岡山市立	87	81	93.1%
		その他	4	3	75.0%
		計	91	84	92.3%
	中学校	岡山市立	38	35	92.1%
		その他	9	7	77.8%
計		47	42	89.4%	
障害者（児）入所施設		14	14	100.0%	
介護老人福祉施設	地域密着型以外	35	34	97.1%	
	地域密着型	33	33	100.0%	
	計	68	67	98.5%	
介護老人保健施設		24	24	100.0%	

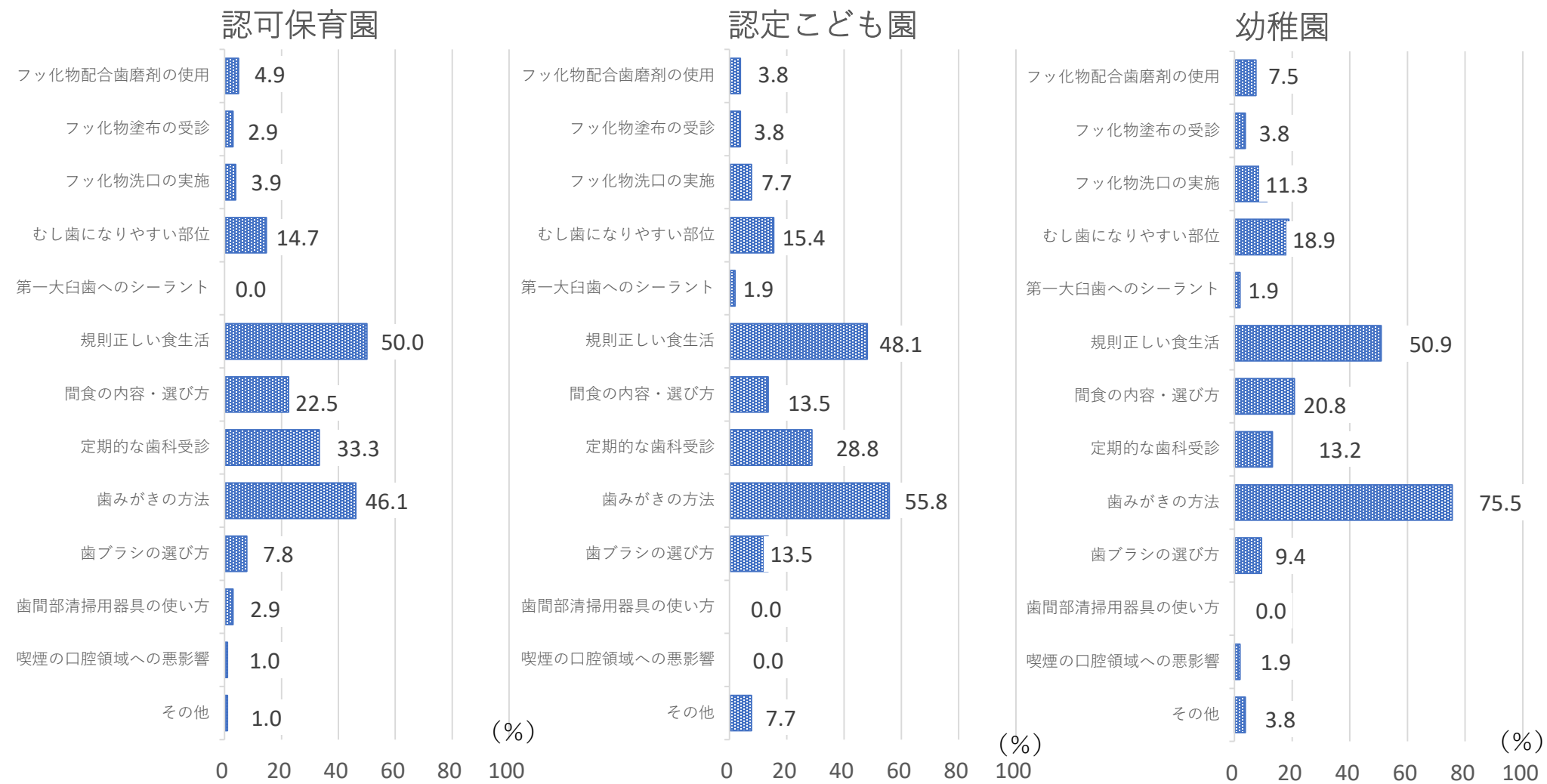
①認可保育園、認定こども園、幼稚園 への調査結果

区分		対象数（発送数）	回収数	回収率
岡山市認可保育園		102	90	88.2%
認定こども園	岡山市立	19	19	100.0%
	その他	33	29	87.9%
	計	52	48	92.3%
幼稚園	岡山市立	39	39	100.0%
	その他	14	13	92.9%
	計	53	52	98.1%

問. 平成29年4月から令和4年3月までの間に、園医・園嘱託医（あるいは歯科衛生士）が歯科保健教育（指導）を行う機会がありましたか。



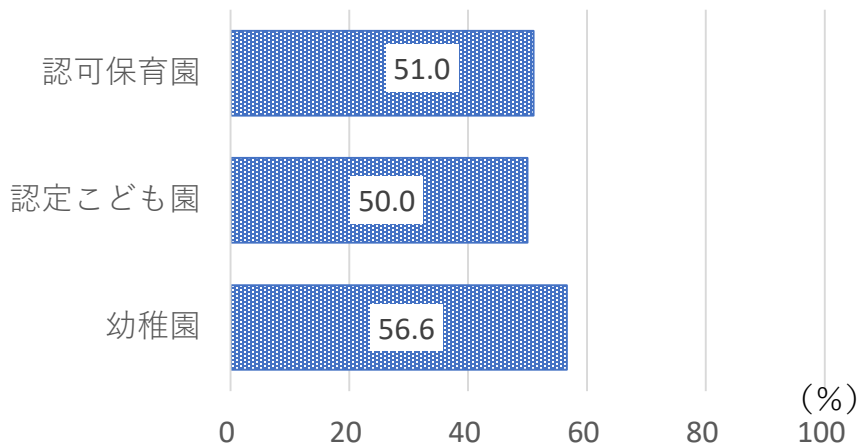
問. 教職員が園児や保護者に対して行った歯科保健教育（指導）の内容に含まれるものを選んでください。



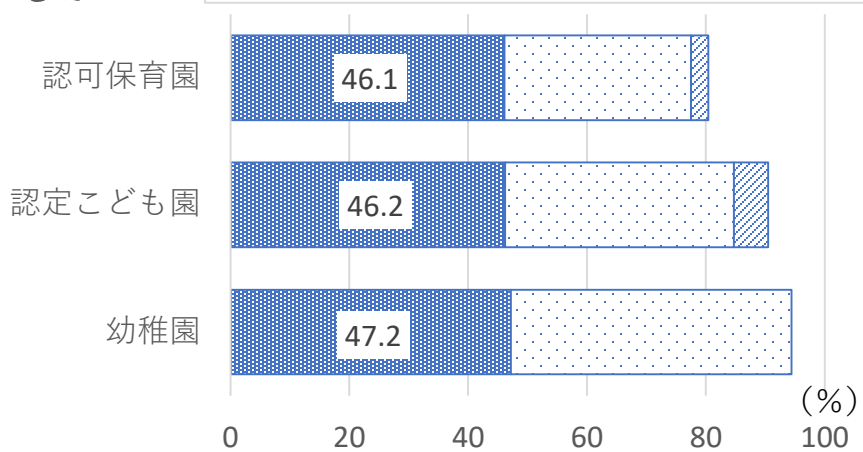
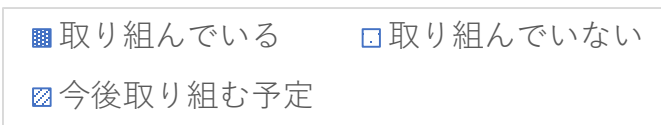
その他の回答	保育園	園児の歯ブラシの使用はないので、うがいの仕方の指導のみ
	認定こども園	歯科検診前に園児に歯磨きの大切さを話したが、上記のような具体的なないようではなかった、磨き残しのチェックの赤く染まるもの、むし歯について、むし歯とは何かを説明、歯科健診の結果報告
	幼稚園	給食後にキシリトールラムネを配っている（園児一人に一粒）、歯並びの矯正

問. 「噛ミング30」運動について

知っているか

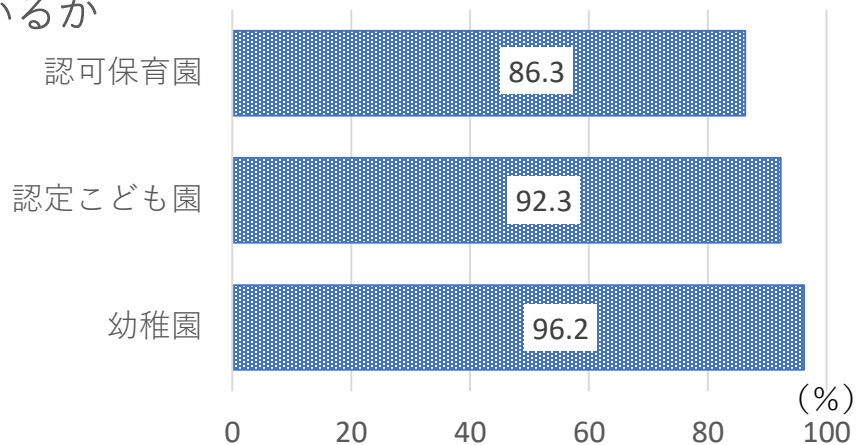


取り組んでいるか

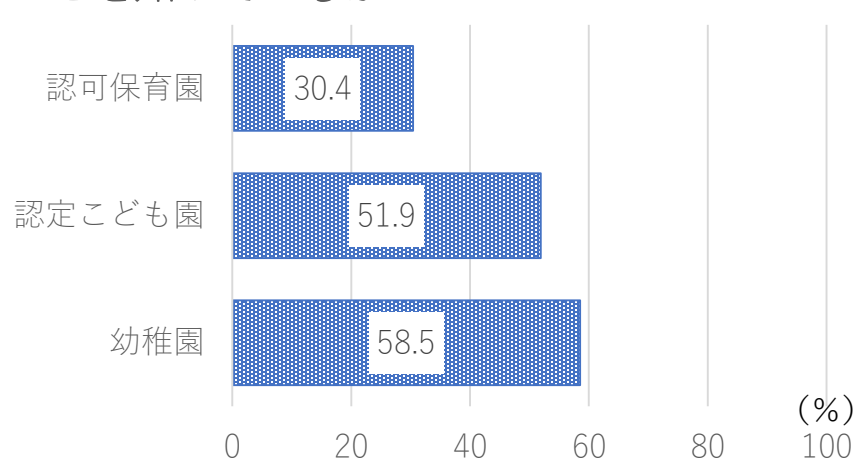


問. フッ化物洗口について

むし歯予防に有効であることを知っているか



市事業として実施できることを知っているか



調査結果のまとめ

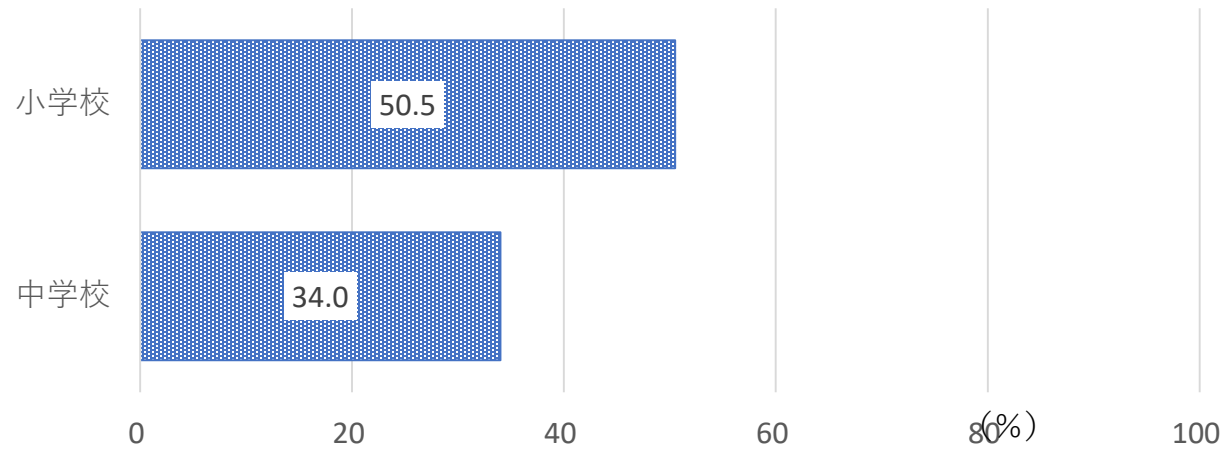
(認可保育園、認定こども園、幼稚園)

- 園医・園嘱託医による歯科保健教育は、約4割の園で行われていなかったが、幼稚園では約3割の園で保護者対象の歯科保健教育が行われていた。
- 教職員が行った歯科保健教育の主なものは、食生活や歯磨きの方法に関する指導で、フッ化物を応用したむし歯予防に関する指導は、ほとんどの園で行われていなかった。
- 「噛ミング30」運動について、約半数の園は知っており、よく噛んで食べることなどを推進していた。
- フッ素洗口のむし歯予防効果について、ほとんどの園が有効であることを認識していたが、市の事業として実施できることを知らない園も多かった。

②小学校、中学校への調査結果

区分		対象数（発送数）	回収数	回収率
小学校（分校含む）	岡山市立	87	81	93.1%
	その他	4	3	75.0%
	計	91	84	92.3%
中学校	岡山市立	38	35	92.1%
	その他	9	7	77.8%
	計	47	42	89.4%

問. 平成29年4月から令和4年3月までの間に、学校保健（安全）委員会において、歯科（口腔）保健に関するテーマを取り上げましたか。

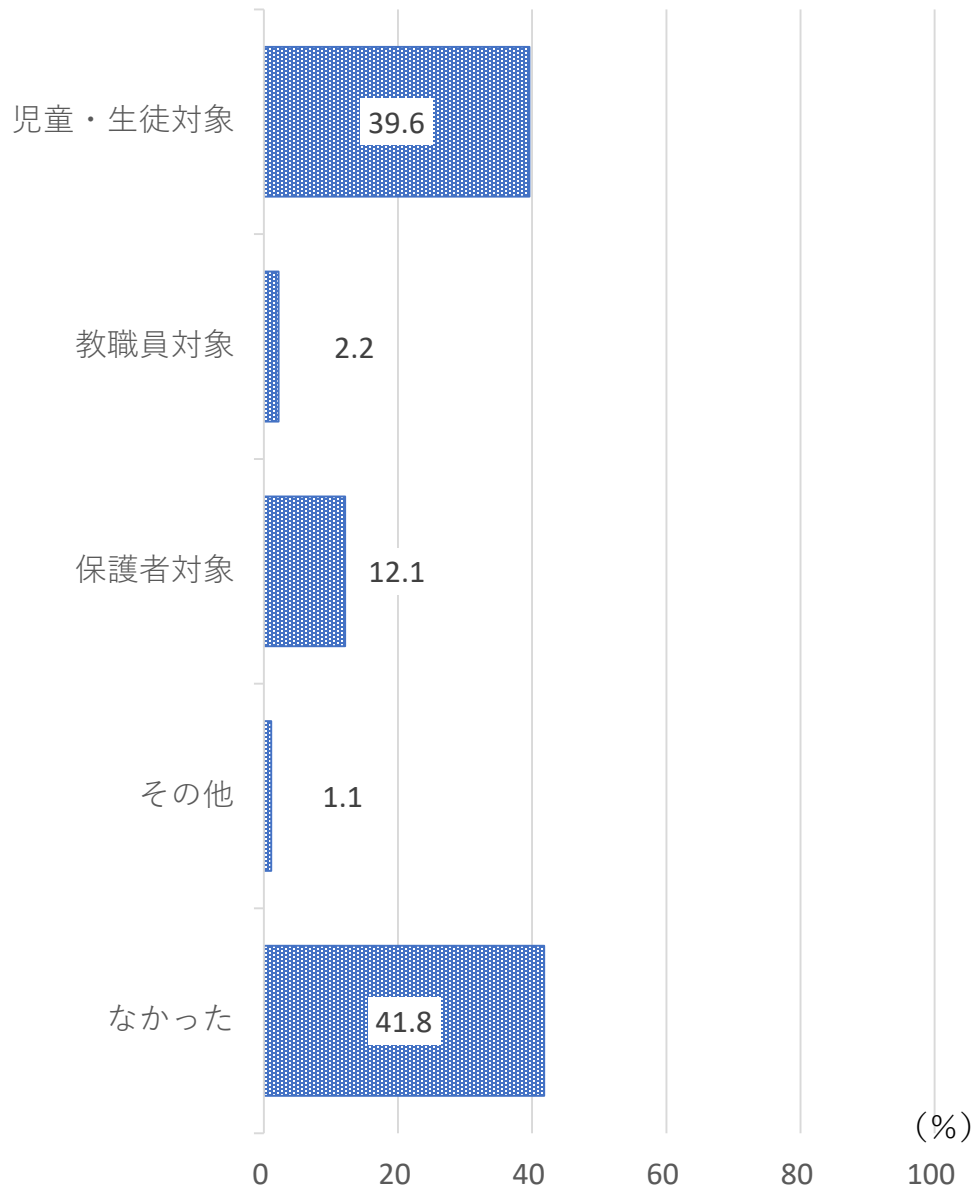


<テーマについて>

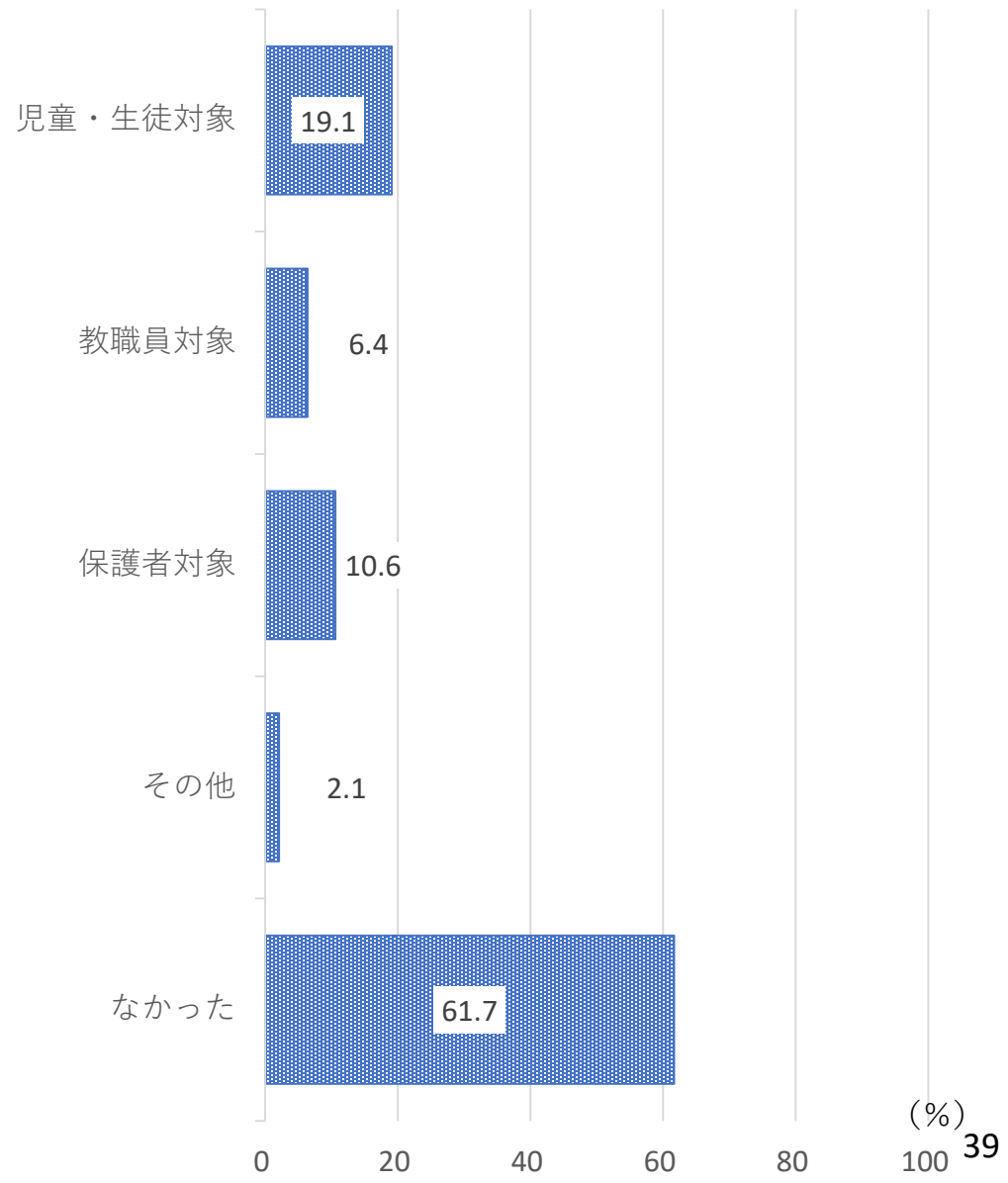
<p>小学校</p>	<p>定期健診の結果の報告（17校）、学童期の歯・口の健康、むし歯の早期治療の大切さ、歯肉炎、児童の歯口の状態について、歯と口の健康週間取組状況について、あらかじめ保護者にとった質問に答えてもらう（むし歯予防、矯正、歯磨き）、児童委員会児童の取組、校医による講話・指導、本校の歯科保健の課題→保護者・医師・教職員との意見交換、むし歯予防、子どもの健口、口内衛生、歯肉炎など、平成31年歯の衛生週間について、歯科指導について、歯・口腔の状況等、フッ素洗口、校内で指導した内容の紹介、う歯予防など、歯の保健指導について、学校歯科医による指導助言、子どもの歯の健康について、かむことの大切さについて、かみかみ給食について、歯と口の健康、風邪予防と口腔衛生について、う歯の予防について、学校歯科医による歯磨き指導、歯の外傷とその要因、歯科保健指導、歯科のクイズ（児童保健委員会）、学校歯科医による講話（酸蝕歯など）</p>
<p>中学校</p>	<p>歯科検診結果（7校）、コロナ禍の今歯科の立場からという演題で講話していただいた、歯科校医による講話、8020運動、フッ素洗口、口臭について、歯周病について、委員会活動の紹介、歯科校医さんからのブラッシング指導、給食後の歯磨きについて、学校医による講演（生徒、保護者）、コロナのため開催できていない</p>

問. 平成29年4月から令和4年3月までの間に、校医（あるいは歯科衛生士）が歯科保健教育（指導）を行う機会がありましたか。

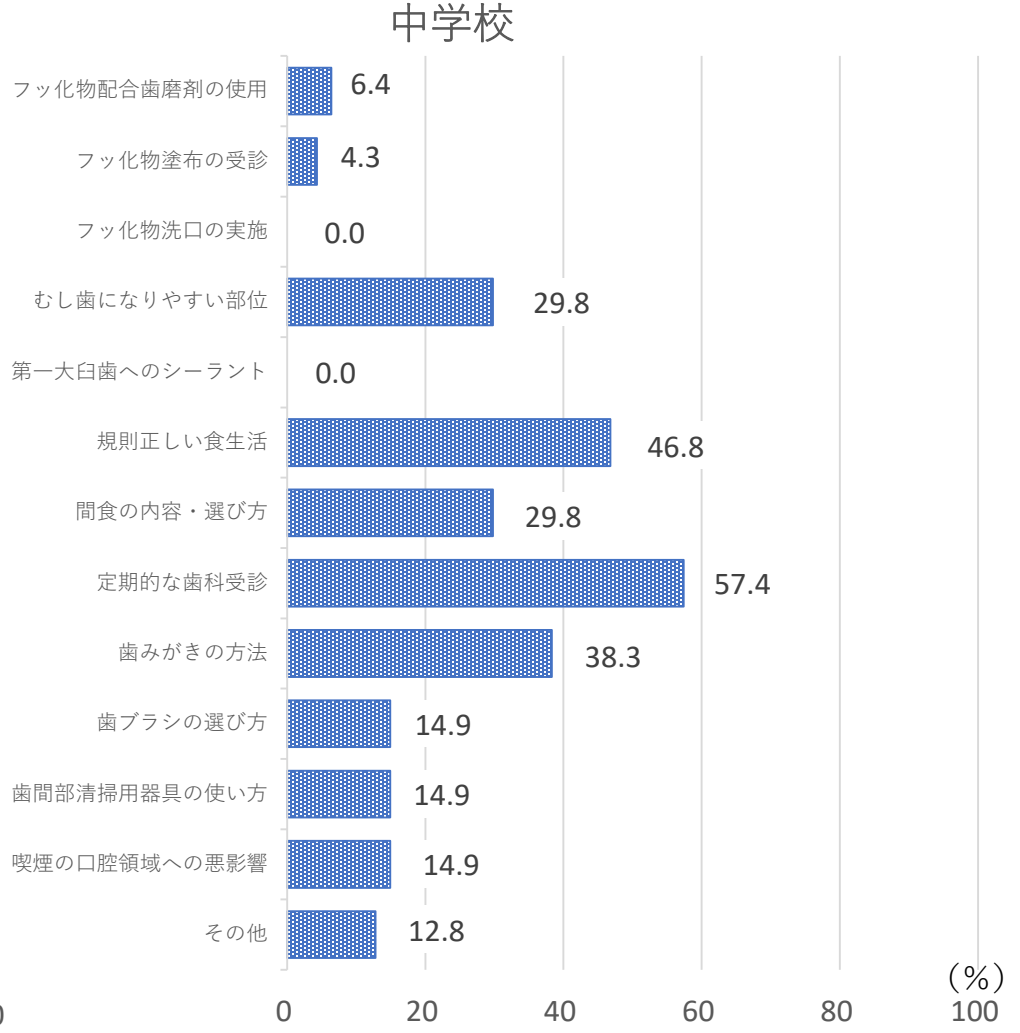
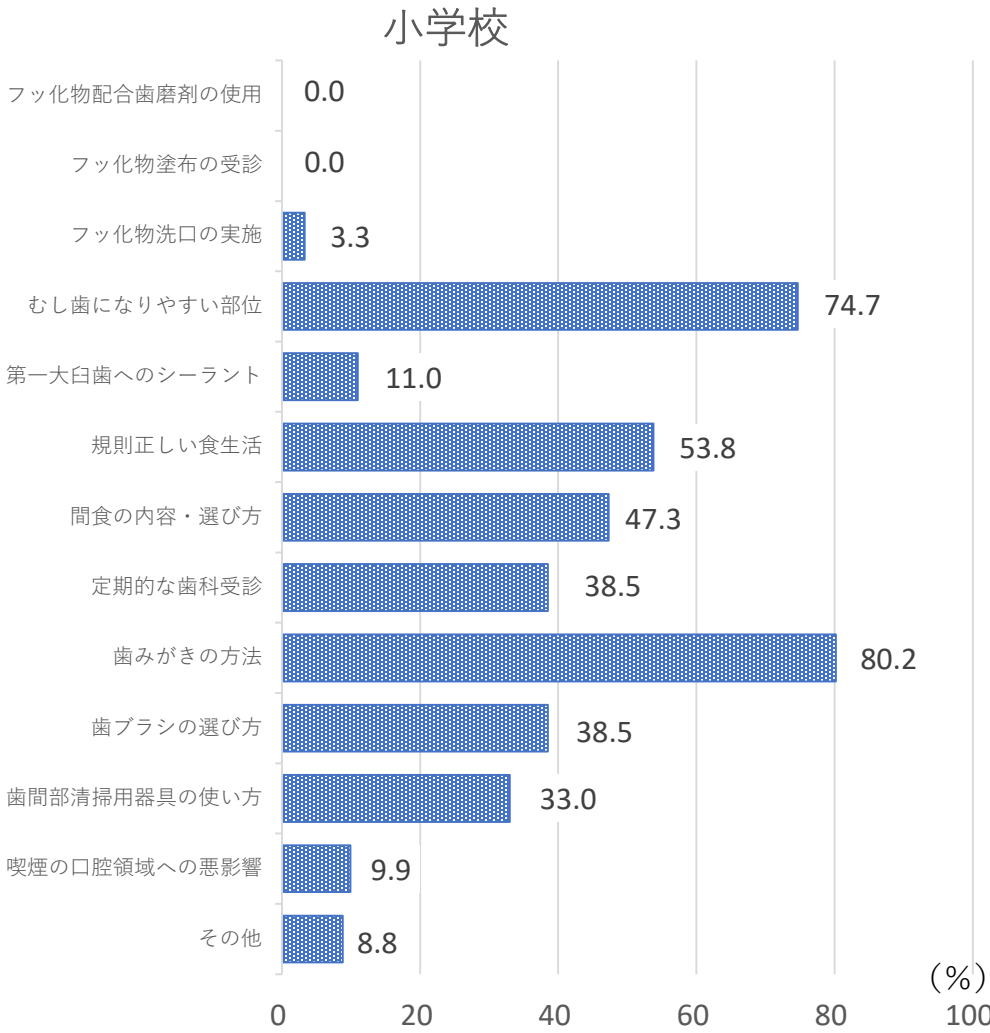
小学校



中学校



問. 教職員が児童・生徒や保護者に対して行った歯科保健教育（指導）の内容に含まれるものを選んでください。

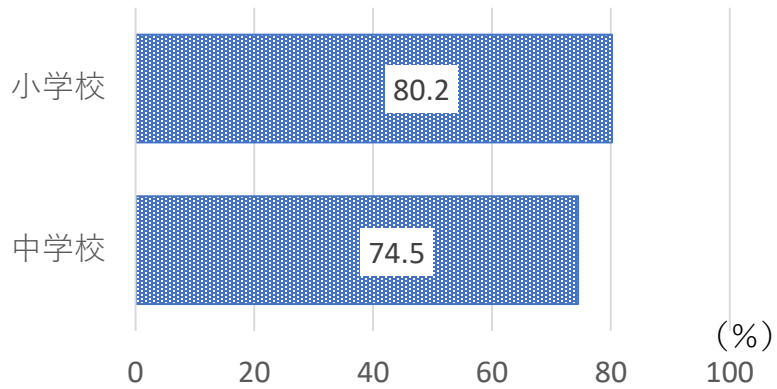


その他の回答	小学校	歯肉の観察と観察のポイントなど、健康診断の結果から自身の口腔の状態を知る、歯科検診の受け方、歯周疾患の予防、よく噛んで食べる、歯の役割、噛むことの大切さ、児童保健委員による歯の絵本の読み聞かせ、歯周病の予防、歯と口のけが、よく噛んで食べることとだ液の効果
	中学校	保健体育、生活習慣病として歯肉炎、歯周病の進み方と予防の必要性、歯周病と歯石について、新型コロナ流行により保健だよりでの啓発しかできていない

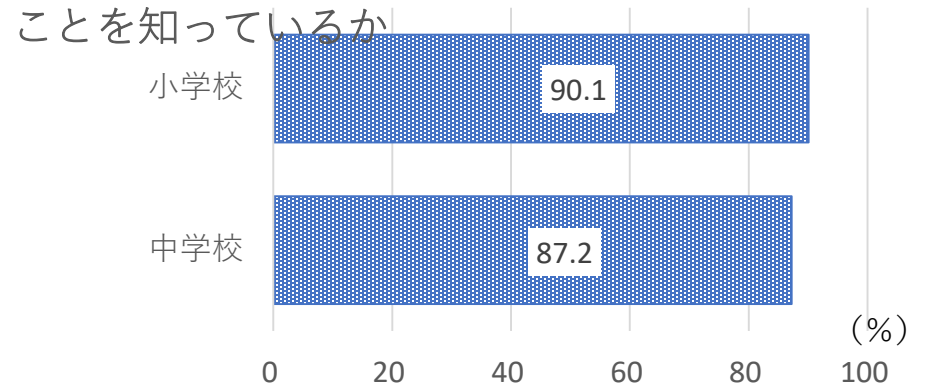
問. 「噛ミング30」運動について

問. フッ化物洗口について

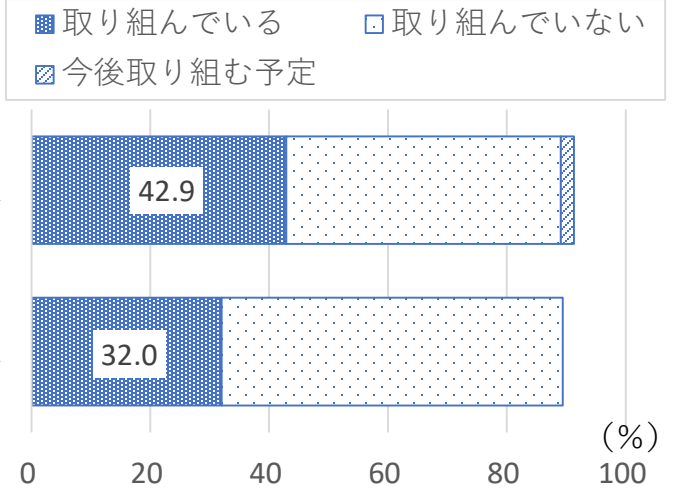
知っているか



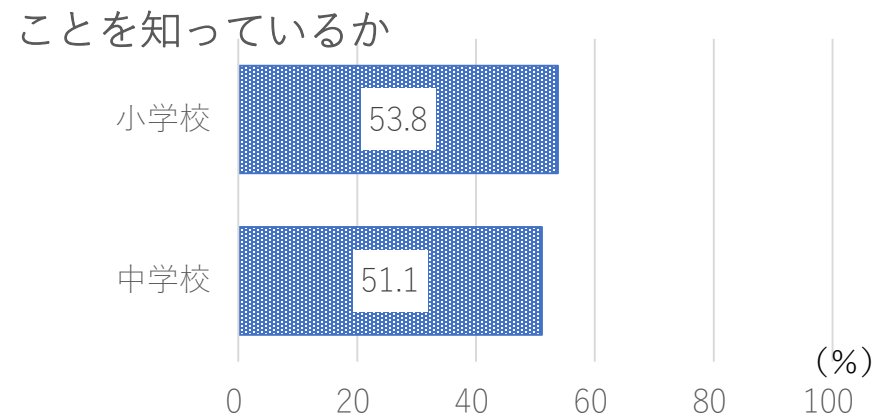
むし歯予防に有効である



取り組んでいるか



市事業として実施できる



フッ化物洗口について	小学校	有効だと思っていない、安全性に疑問がある、ブラッシング、生活習慣等の保健指導を充実させたい、有効だと言っている人がいることを知っている
フッ化物洗口が市事業として実施できることを知っているか	小学校	学校教育においては実施しません、学校現場での実施は不可能、学校ですべきものではないとも思います、なぜ集団でしようとしているのか疑問に思うし、集団ですべきではないことも含めてとてもよく知っています。ケアが十分できている子どもと全く手が届いていない子どもの両極化が進んでいます。個別にとらえて対応しなくては深刻な状況の子を救うことはできません。本当に必要な対策は何なのか。(集団フッ素洗口ありき、全国と実施率で比べることのおろかさ)に気づいてほしいなと思っています。

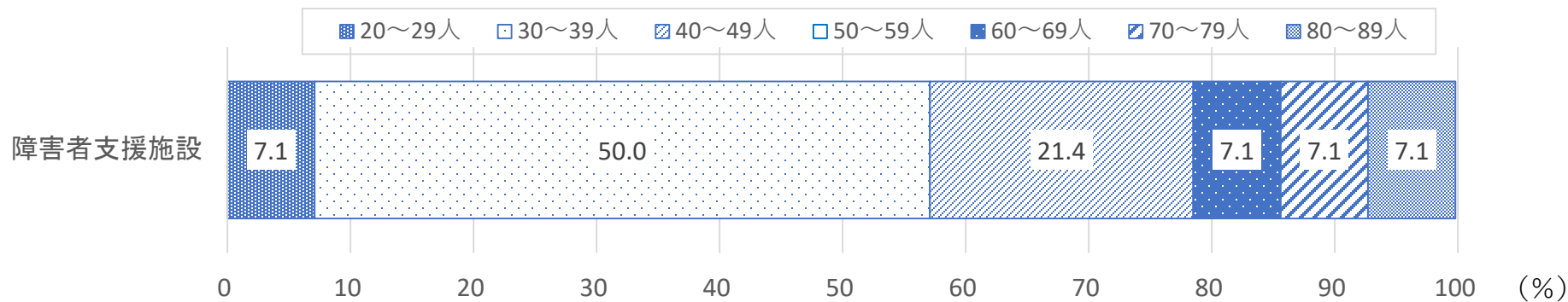
調査結果のまとめ (小学校、中学校)

- 学校保健（安全）委員会で、歯科（口腔）保健に関するテーマを取り上げた学校は小学校で約半数、中学校で約3割であったが、その多くは、学校歯科検診の結果や治療に関するものであった。一方で、歯周病や噛むことの大切さ、コロナ禍で気をつけることなどについて、取り上げた学校もあった。
- 学校医による歯科保健教育は、小学校で約4割、中学校で約6割の学校で、行われていなかった。
- 教職員が行った歯科保健教育の主なものは、小学校ではむし歯になりやすい部位や歯磨きの方法について、中学校では定期的な歯科受診についてであり、フッ化物を応用したむし歯予防に関する指導は、ほとんどの学校で行われていなかった。
- 「噛ミング30」運動について、ほとんどの学校は知っているが、取組ができていない学校も多かった。
- フッ素洗口のむし歯予防効果について、ほとんどの学校が有効であることを認識していたが、市の事業として実施できることを知っているのは約半数であった。

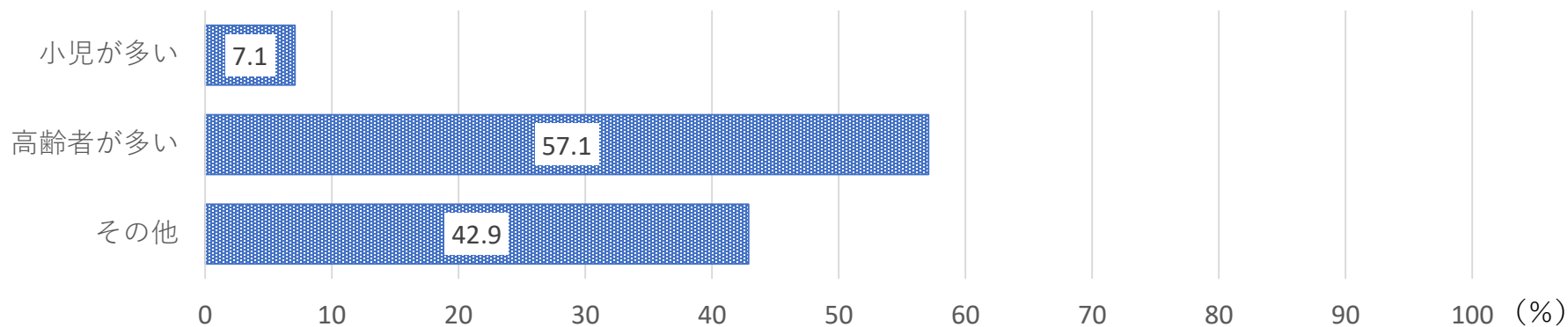
③障害者（児）入所施設への調査結果

区分	対象数（発送数）	回収数	回収率
障害者（児）入所施設	14	14	100.0%

問. 入所者数を教えてください。

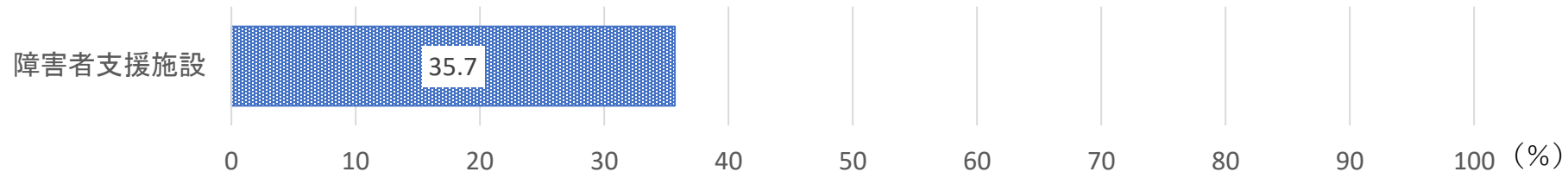


問. 入所者（施設）の特徴があれば、教えてください。

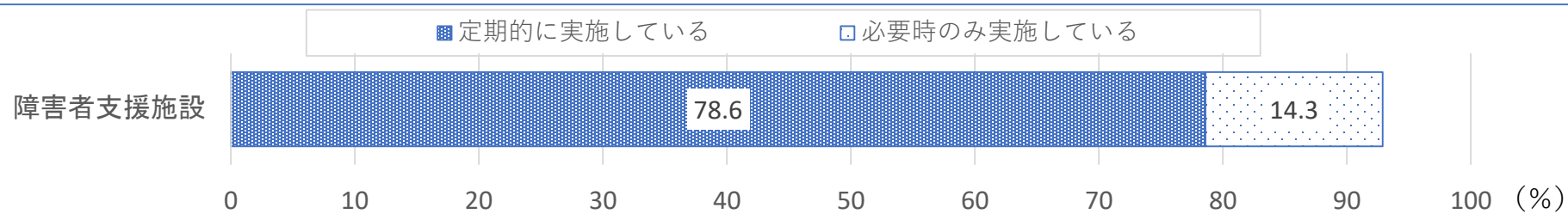


その他の回答 50~60歳代が多い、児者併設、身体・知的、20~72歳、19~79歳（多いのは40代）、知的

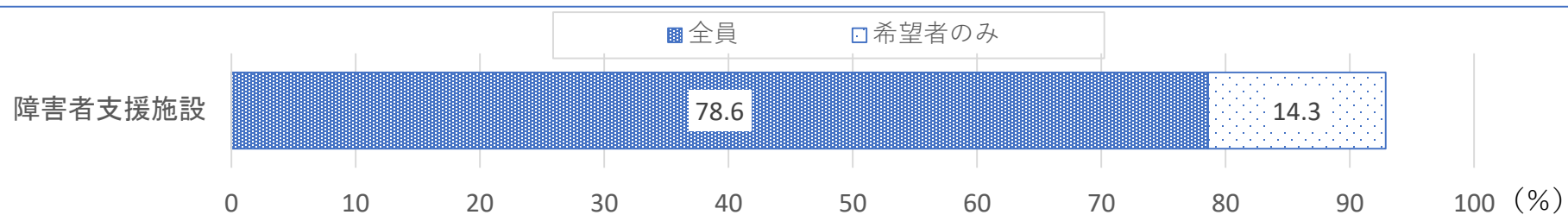
問. 入所時に、歯科検診を実施していますか。



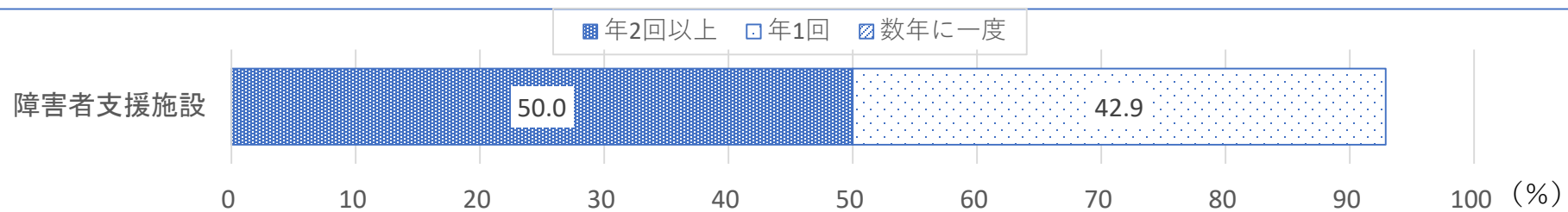
問. 施設入所後、入所者を対象とした歯科検診を実施していますか。



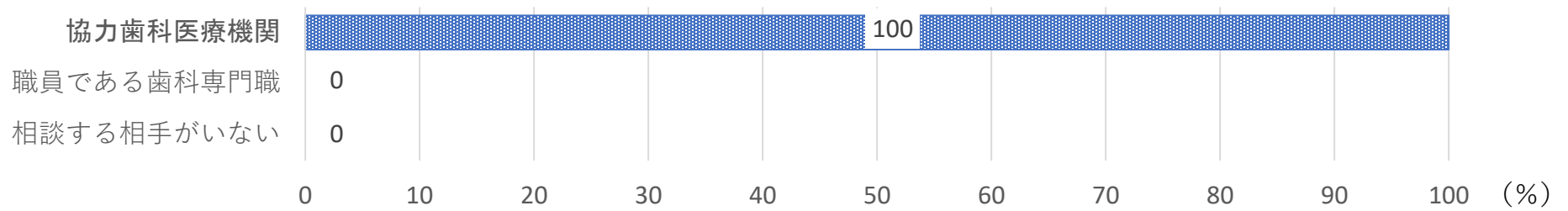
問. 歯科検診の対象者を教えてください。



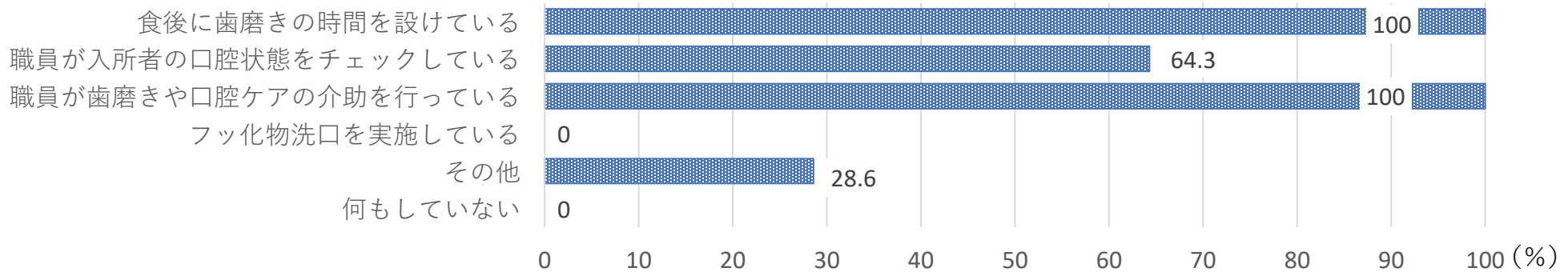
問. 歯科検診の一人当たりの実施頻度を教えてください。



問. 歯科や口腔に関する専門的な相談は誰にしていますか。



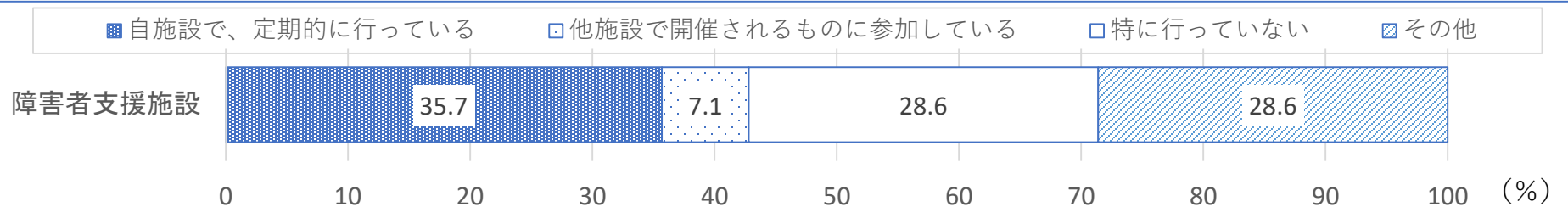
問. 入所者の口腔ケアに関して、日常的に取り組んでいることは何ですか。



その他の回答

3か月に1回の割合で歯科受診にて口腔ケアを行っている、定期的に歯科受診している、口腔内異常時歯科受診、歯磨き剤をフッ素と歯周病予防に特化した物を使用している

問. 職員を対象とした口腔ケアに関する研修を行っていますか。



その他の回答

コロナ禍で休止中、系列の母体施設で行うのに参加している、自施設で必要時、園内看護師による情報提供、2年に1回程度、歯科医・衛生士の方の研修

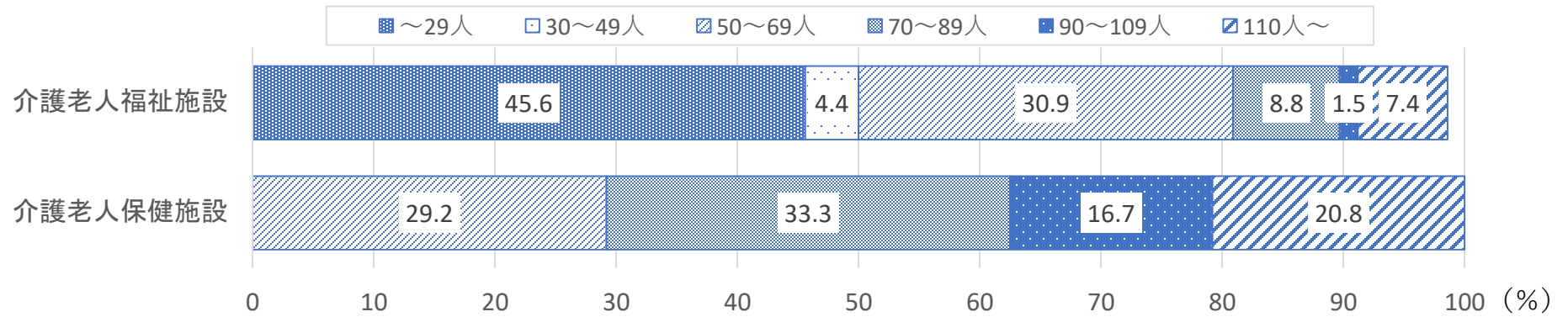
調査結果のまとめ (障害者（児）入所施設)

- 入所時に歯科検診を実施している施設は4割に満たないが、入所後はほとんどの施設で歯科検診を実施している。
- 入所者の口腔ケアは自身が行うものに加え、職員が介助している。
- 職員を対象とした口腔ケアに関する研修を定期的に行っている施設は14施設中5施設であった。

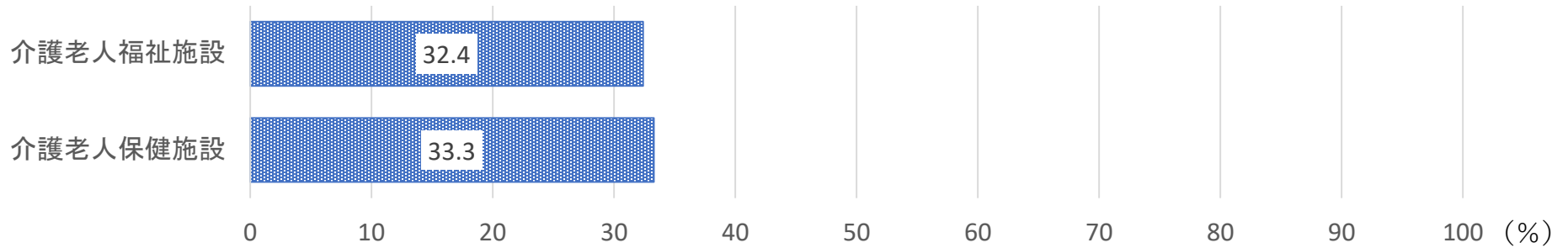
④介護老人福祉施設、介護老人保健施設 への調査結果

区分		対象数（発送数）	回収数	回収率
介護老人福祉施設	地域密着型以外	35	34	97.1%
	地域密着型	33	33	100.0%
	計	68	67	98.5%
介護老人保健施設		24	24	100.0%

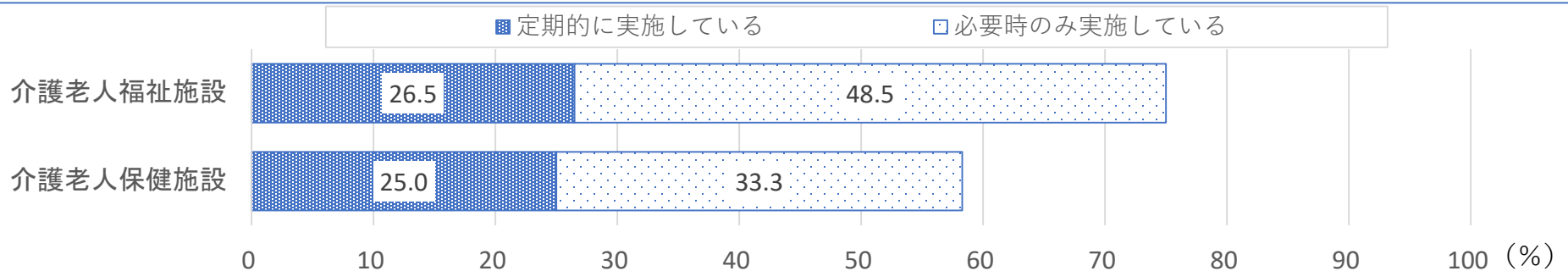
問. 入所者を教えてください。



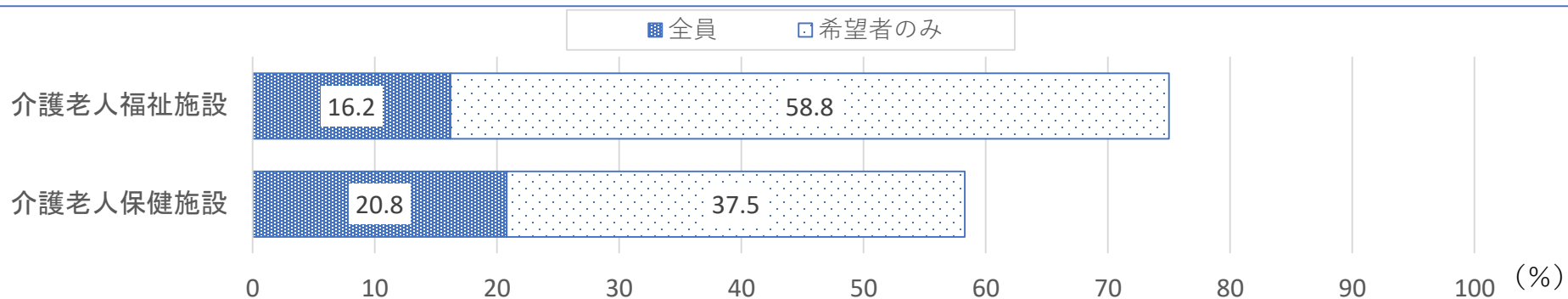
問. 入所時に、歯科検診を実施していますか。



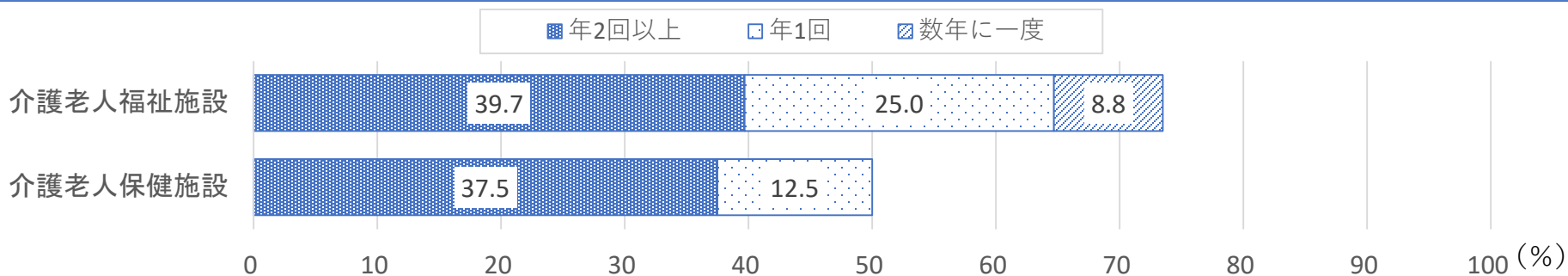
問. 施設入所後、入所者を対象とした歯科検診を実施していますか。



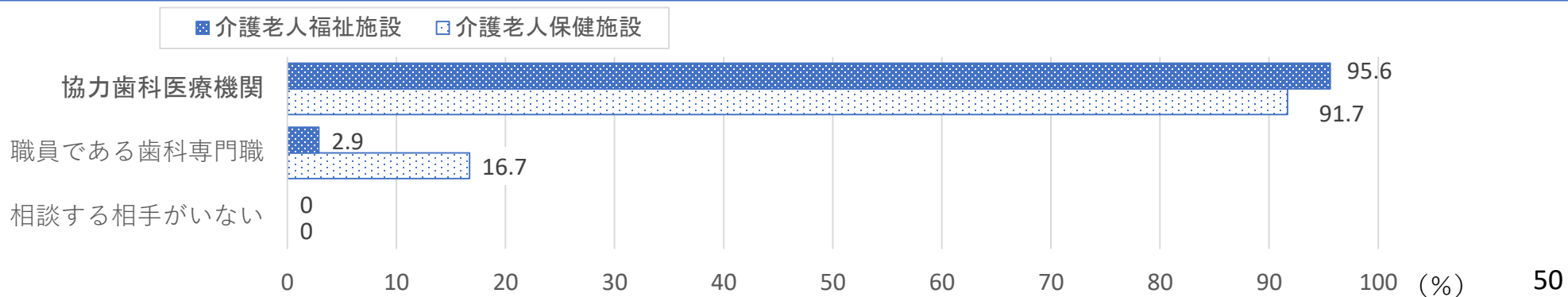
問. 歯科検診の対象者を教えてください。



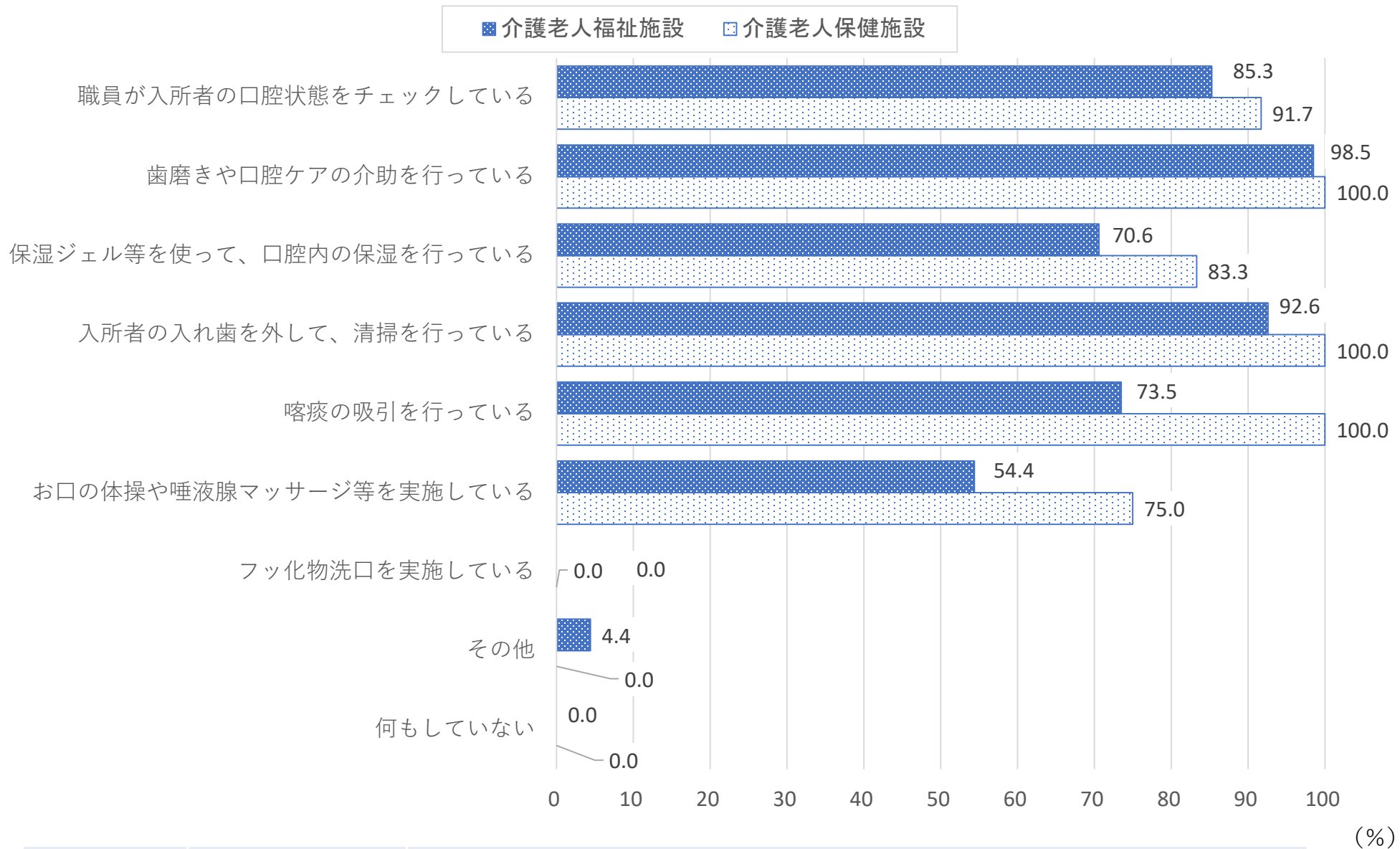
問. 歯科検診の一人当たりの実施頻度を教えてください。



問. 歯科や口腔に関する専門的な相談は誰にしていますか。



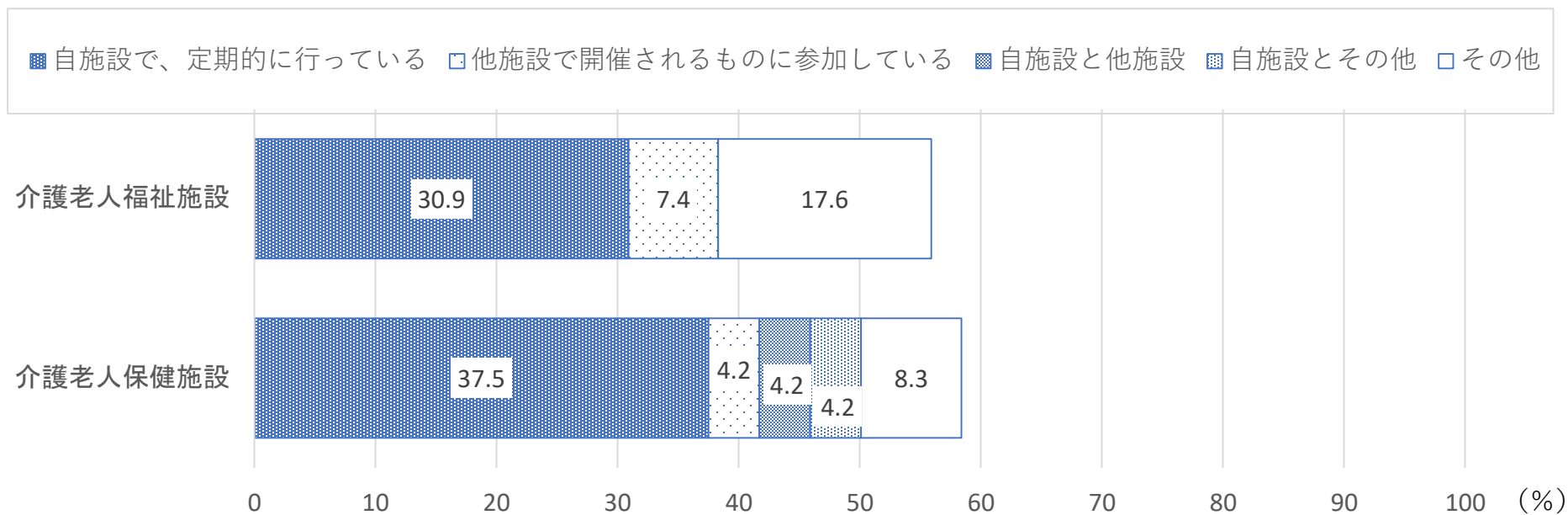
問. 入所者の口腔ケアに関して、日常的に取り組んでいることは何ですか。



その他の回答	介護老人福祉施設	歯科のリンス液使用、週1回歯科往診でみてもらう、歯間ブラシ
--------	----------	-------------------------------

(%)

問. 職員を対象とした口腔ケアに関する研修を行っていますか。



その他の回答	介護老人福祉施設	今年度から実施予定 年間計画で実施している年もある 定期ではないが行っている 外部施設への参加 自施設で不定期 不定期に施設内で研修 不定期に協力歯科医療機関に研修を依頼している 協力医療機関の指導あり 入所時、個別に必要な相手に行く 協力歯科が研修する予定 自施設実施への計画準備中 不定期に施設内で研修 必要時、ミールラウンド時
	介護老人保健施設	定時行っている 全体施設開催のものに参加

調査結果のまとめ

(介護老人福祉施設、介護老人保健施設)

- 入所時に歯科検診を実施している施設は3割程度である。
- 入所後、歯科検診を実施している施設は約7割である。
- 入所者の口腔ケアを職員が介助したり、入れ歯を外して洗ったりすることは、ほとんどの施設で行っているが、保湿やお口の体操は、できていない施設もある。
- 職員を対象とした口腔ケアに関する研修を定期的に行っている施設もあったが、特に行っていない施設も4割程度、存在した。